

業務用省エネ計算統合ソフト 操作説明書

三菱電機株式会社	
作成日	2009 年 4 月 15 日
改定	2023 年 6 月 9 日

<目次>

<u>1. はじめに</u>	
1.1 はじめに	1
1.2 動作環境	1
<u>2. インストールとアンインストール</u>	
2.1 インストール	2
2.2 アンインストール	3
<u>3. 起動と終了</u>	
3.1 起動	4
3.2 終了	5
3.3 プログラムが起動しない場合の対処方法	5
<u>4. 開くと保存</u>	
4.1 開く	7
4.2 保存	8
<u>5. 提案書出力までの操作手順</u>	
5.1 共通情報・空調条件の入力	9
5.2 省エネ計算を行う	11
5.2.1 業務用P A C (Mr. SLIM)の省エネ計算	11
5.2.2 ビル用マルチエアコンの省エネ計算	16
5.2.3 設備用P A Cの省エネ計算	19
5.2.4 照明の省エネ計算	22
5.3 提案書の出力	29
5.3.1 提案書の出力	29
5.3.2 提案書の内容の確認	30
5.3.3 提案書の印刷	31
<u>6. 提案書の内容</u>	33
<u>7. マスタメンテナンス</u>	
7.1 業務用P A C (Mr. SLIM)のマスタメンテナンス	46
7.1.2 ロスナイのマスタメンテナンス	50
7.2 ビル用マルチエアコンのマスタメンテナンス	53
7.3 設備用P A Cのマスタメンテナンス	57
7.4 空調電気料金のマスタメンテナンス	61

1. はじめに

1.1 はじめに

本マニュアルでは、「業務用省エネ計算統合ソフト」の利用方法について説明します。

「業務用省エネ計算統合ソフト」では、次のことが行えます。

- (1) 三菱電機の複数の業務用設備機器※¹のランニングコスト計算が簡単にできます。
- (2) 計算結果を**提案書**として EXCEL に出力することができます。

1.2 動作環境

OS	Windows 8.1 (32/64bit) Windows 10 (32/64bit)
Microsoft Office	Office 2016 (32bit) Microsoft 365 (32bit/64bit)
解像度	1024×768 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上

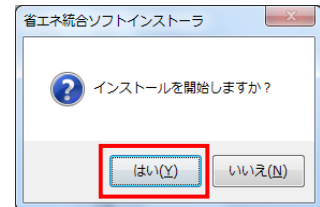
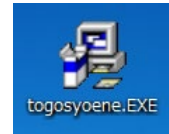
上記を満たさない環境での動作は保証いたしません。

2. インストールとアンインストール

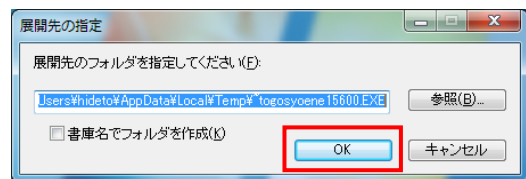
2.1 インストール

ソフトウェアのインストールは次の手順で行います。

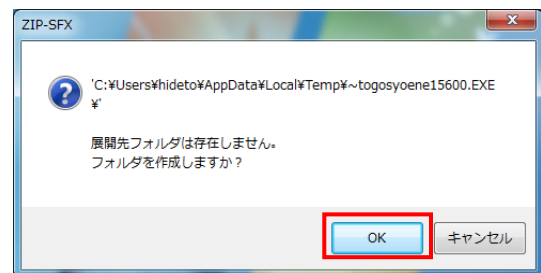
- (1) 業務用省エネ計算統合ソフトのインストールプログラム (togosyoene.EXE) をWIN2Kの計算ソフトのページよりダウンロードします。
- (2) ダウンロードしたファイルをダブルクリックして実行します。
- (3) 省エネ統合ソフトインストーラの画面に「インストールを開始しますか？」のメッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



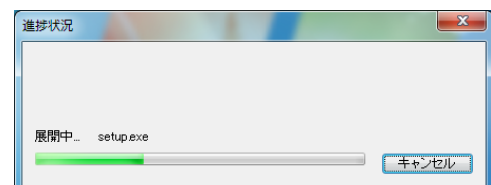
- (4) 展開先の指定画面が表示されます。[OK] ボタンを押します。
(※) インストーラプログラムをテンポラリフォルダ以外に展開する場合は、[参照] ボタンをクリックして変更してください。



- (4) 展開先に展開用フォルダがない場合は、次のメッセージが表示されます。
[OK] ボタンを押します。

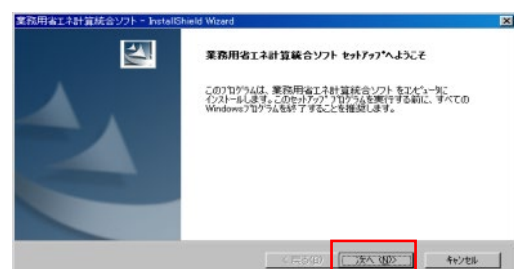


- (5) インストーラの展開中の画面が表示されます。
そのままお待ちください。

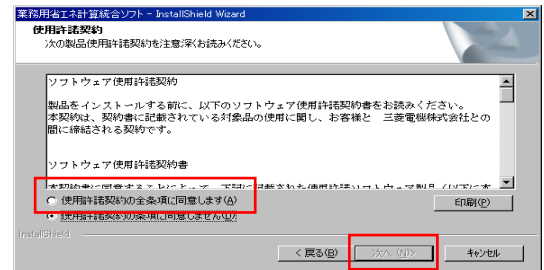


- (6) ユーザーアカウント制御画面で、
「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。

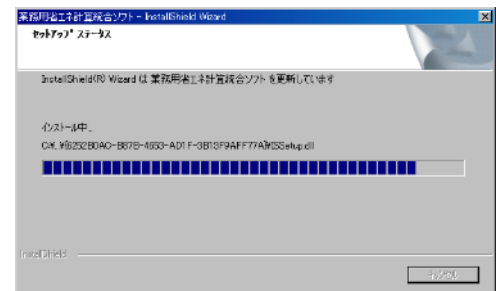
- (7) 「業務用省エネ計算統合ソフトセットアップへようこそ」の画面が表示されますので
[次へ] のボタンをクリックします。



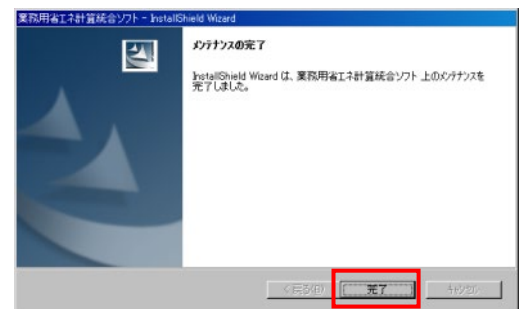
- (8) 「使用許諾契約」画面が表示されます。ソフトウェア仕様許諾契約をご確認の上、
「使用許諾契約の全条項に同意します」をクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。
(※) 必要に応じて、ソフトウェア仕様許諾契約を [印刷] ボタンで印刷してください。



- (9) 「セットアップステータス画面が」表示されます。
インストールが完了すると本画面は消えます。



- (10) しばらくすると、「メンテナンスの完了画面」が表示されますので、[完了] ボタンをクリックします。インストールは完了です。

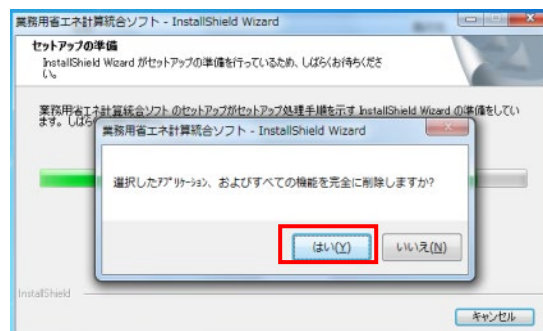


2.2 アンインストール

- (1) 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」を起動してください。
(2) 「業務用省エネ計算統合ソフト」を選択して、右クリックでアンインストールを選びます。



- (3) アンインストールの確認画面が表示されますので [はい] ボタンをクリックしてください。



- (4) 「アンインストール完了」の画面に戻ったところで、[完了] ボタンをクリックしてください。

3. 起動と終了

3.1 起動

- (1) [スタート] – [すべてのプログラム] – [業務用省エネ計算統合ソフト] の順でクリックします。

- (※) デスクトップ上に配置された「業務用省エネ計算統合ソフト」のアイコンをダブルクリックすると更に簡単に起動できます。



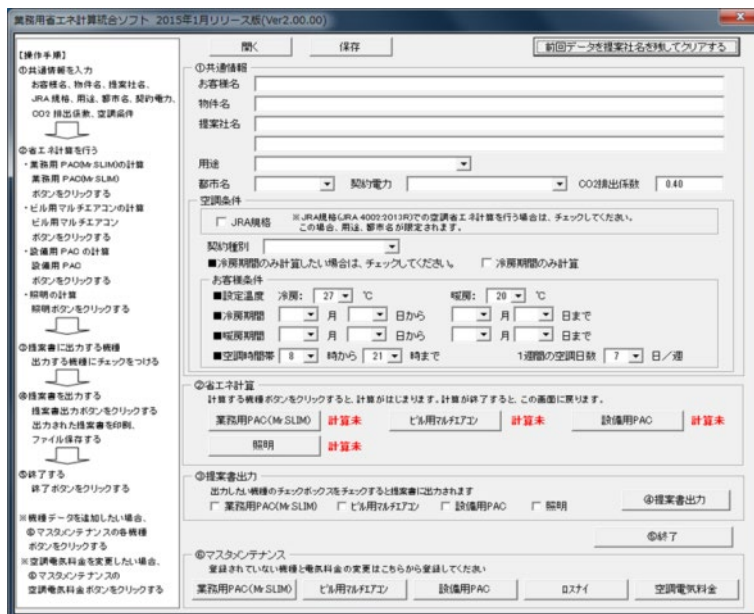
- (2) 起動の際、セキュリティ警告の画面が表示されることがあります。
以下の①、②の操作を行ってマクロを有効にしてください。

- ①セキュリティの警告で[コンテンツの有効化] ボタンを押します。



- (※) セキュリティ警告の画面が出ない場合は、「3.3 プログラムが起動しない場合の対処方法」をご確認ください。
(※) 本プログラムでは、EXCEL のマクロ機能を利用しているため、マクロを有効にしないとプログラムを動作させることができません。

- (3) 次の画面が表示されましたら起動完了です。



3.2 終了

(1) [⑤終了] ボタンを押すと、プログラムは終了します。

(※) プログラムが終了しない場合は、お客さまが別の EXCEL ファイルを編集されている可能性がございますので、別 EXCEL を終了してください。

3.3 プログラムが起動しない場合の対処方法

本プログラムは、Excel マクロを利用して作成しておりますので、マクロの設定によりプログラムが起動しないことがあります。その場合は、下記内容をご確認ください。

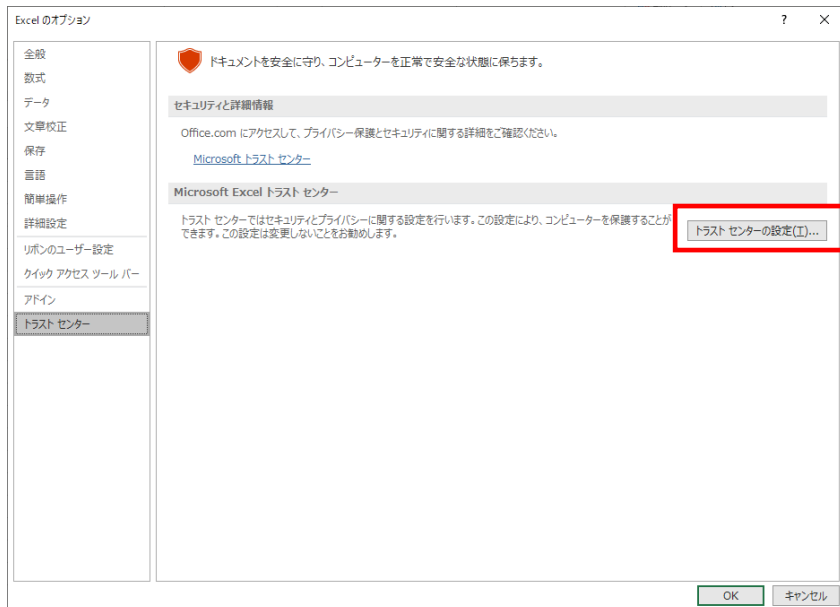
(※) 下記確認方法は Microsoft 365 Excel の場合です。

セキュリティレベルの確認

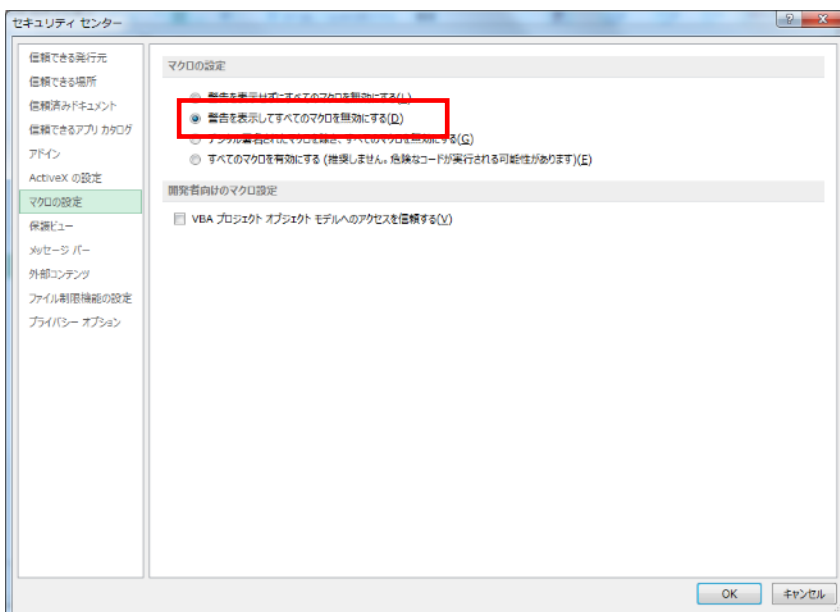
(1) 「ファイル」メニューより「オプション」を選択ください。



- (2) オプション画面が表示されますので、「トラスト センター」を選択し、
[トラスト センターの設定(T)] ボタンを押してください。



- (3) トラスト センターダイアログが表示されますので、「マクロの設定」を選択し、
「警告を表示してすべてのマクロを無効にする (D)」が選択されていることを確認してください。
選択されていない場合は選択し、[OK] ボタンを押してください。
再度、(2) の Excel のセキュリティオプション画面が表示されるので、[OK] ボタンを押してください。

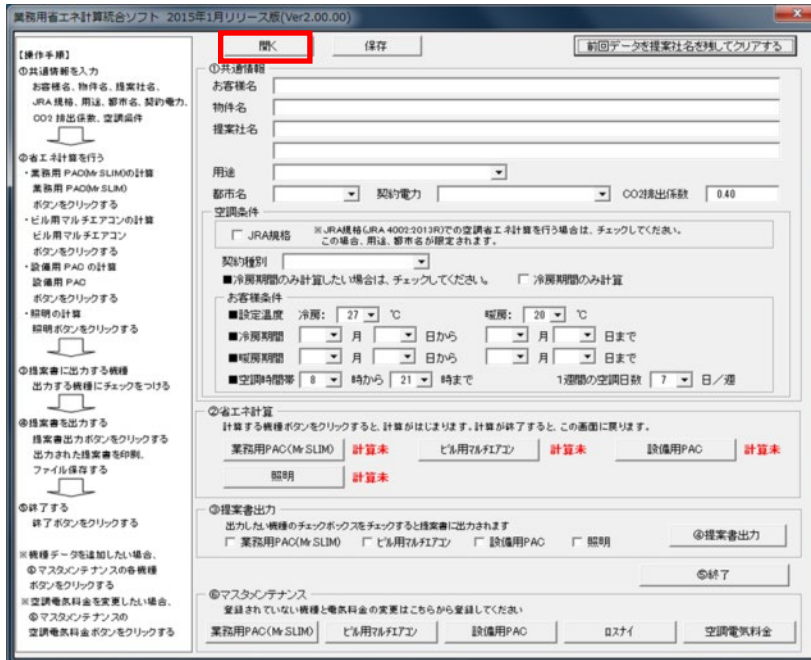


- (4) プログラムを再度起動してください。

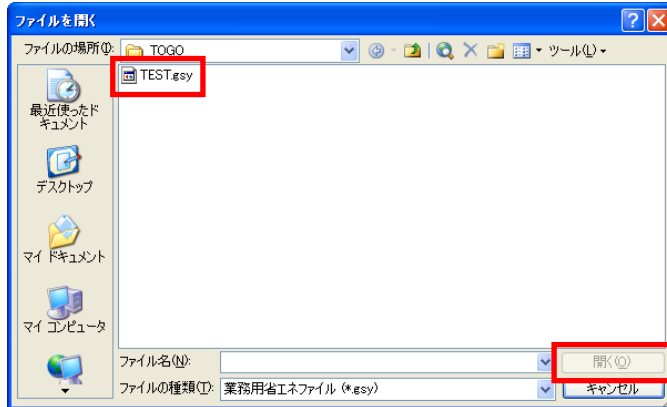
4. 開くと保存

4.1 開く

- (1) [開く] ボタンをクリックします。



- (2) ファイルを開く画面が開きます。



- (3) 保存した業務用省エネファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

- (4) 選択されたファイルが初期画面上に開きます。

4.2 保存

(1) [保存] ボタンをクリックします。

業務用省エネ計算統合ソフト 2015年1月リリース版 (Ver2.00.00)

操作手順

- ①共通情報を入力
 - お客様名、物件名、提案社名、JRA規格、用途、都市名、契約電力、CO2排出係数、空調条件
- ②省エネ計算を行う
 - 業務用PAC(Mr.SLMO)の計算
 - 業務用PAC(Mr.SLMO) ボタンをクリックする
 - ビル用マルチエアコンの計算
 - ビル用マルチエアコン ボタンをクリックする
 - 設備用PACの計算
 - 設備用PAC ボタンをクリックする
 - 照明の計算
 - 照明 ボタンをクリックする
- ③提案書に出力する機種
 - 出力する機種にチェックをつける
- ④提案書も出力する
 - 提案書出力ボタンをクリックする
 - 出力された提案書を印刷、ファイル保存する
- ⑤終了する
 - 終了ボタンをクリックする

※機種データを追加したい場合、④マスタメンテナンスの各種ボタンをクリックする

※空調電気料金を変更したい場合、④マスタメンテナンスの空調電気料金ボタンをクリックする

①共通情報

お客様名
物件名
提案社名

用途
都市名
契約電力
CO2排出係数 0.40

空調条件

☐ JRA規格 ※JRA規格(RA 4002:2013R)での空調省エネ計算を行う場合は、チェックしてください。この場合、用途、都市名が限定されます。

契約種別

☐ 冷房期間のみ計算したい場合は、チェックしてください。 ☐ 冷房期間のみ計算

お客様条件

■設定温度 冷房: 27 °C 暖房: 20 °C

■冷房期間 月 日から 月 日まで

■暖房期間 月 日から 月 日まで

■空調時間帯 8 時から 21 時まで 1週間の空調日数 7 日/週

②省エネ計算

計算する機種ボタンをクリックすると、計算がはじまります。計算が終了すると、この画面に戻ります。

業務用PAC(Mr.SLMO) 計算未 ビル用マルチエアコン 計算未 設備用PAC 計算未

照明 計算未

③提案書出力

出力した機種のチェックボックスをチェックすると提案書に出力されます

☐ 業務用PAC(Mr.SLMO) ☐ ビル用マルチエアコン ☐ 設備用PAC ☐ 照明

④提案書出力

⑤終了

④マスタメンテナンス

登録されていない機種と電気料金の変更はこちらから登録してください

業務用PAC(Mr.SLMO) ビル用マルチエアコン 設備用PAC 照明 空調電気料金

(2) 名前をつけて保存の画面が開きます。

名前をつけて保存

保存先: TOGO

TEST.esy

最近使ったドキュメント

デスクトップ

マイドキュメント

マイコンピュータ

ファイル名(N): sinnki

ファイルの種類(T): 業務用省エネファイル (*.esy)

保存(S)

キャンセル

(3) 保存先を選択して、ファイル名を入力し、[保存] ボタンを押します。

(4) 指定された先に、業務用省エネファイルが保存されます。

5. 提案書出力までの操作手順

起動画面左側に書かれた操作手順で、提案書を出力できます。

5.1 共通情報・空調条件の入力

省エネ提案書作成に関する機種間での共通情報を入力してください。

各項目の内容は下記の通りです。

㉑お客様名 : お客様名（提出先）を入力してください。

㉒物件名 : 物件名を入力してください。

㉓提案社名 : 本提案書を直接お客様に提案する会社を入力してください。

㉔提案社名（二段目）: 提案社名と提案書作成会社が異なる場合、必要に応じて社名等を入力ください。

㉕用途 : 計算する建物の用途を選択してください。

（㉑の JRA 規格をチェックすると、店舗、事務所のみが選択可能です。

なお、㉑都市名が札幌の場合は、事務所のみとなります。）

㉑都市名 : 物件の所在地を入力してください。該当する都市が無い場合は、近隣の都市を選択してください。

（㉑の JRA 規格をチェックすると

<東京、大阪、名古屋、仙台、福岡、広島、高松、富山、前橋、盛岡、札幌、鹿児島>
のみが選択可能となります。）

㉑契約電力 : 都市名を選択すると、自動的にその都市の契約電力会社が表示されます。

変更したい場合は、リストから選択してください。

⑧CO₂ 排出係数 : CO₂ 排出係数は、初期値 0.40 となります。変更したい場合は、入力ください。

(※) 変更した場合は、提案書の杉の木に換算する表示はなくなります。

⑨JRA 規格 : 空調の省エネ計算を JRA 規格 (JRA 4002:2013R) で行う場合はチェックしてください。

(この場合、用途、都市名、温度条件等が、JRA 規格に従い、絞り込まれます。)

⑩契約種別 : 電力契約の種別を選択してください。

⑪冷房期間のみ計算 : 冷房期間のみ計算したい場合は、チェックしてください。

(⑨の JRA 規格をチェックすると、入力できません。)

⑫設定温度 : 計算する条件の設定温度を入力してください。

(⑨の JRA 規格をチェックすると、入力できません。)

⑬冷房期間 : 計算する条件の冷房期間を入力してください。

(⑨の JRA 規格をチェックすると、入力できません。)

⑭暖房期間 : 計算する条件の暖房期間を入力してください。

(⑨の JRA 規格をチェックすると、入力できません。)

⑮空調時間帯 : 計算する条件の空調時間帯を入力してください。

(⑨の JRA 規格をチェックすると、入力できません。)

⑯1 週間の空調日数 : 計算する条件の空調日数を入力してください。

(⑨の JRA 規格をチェックすると、入力できません。)

⑰前回データを提案社名を残してクリアする

: 本ソフトでは、起動時、前回設定したデータを全て保持するようになっています。

前回計算したデータをクリアしたい場合は本ボタンを押してください。

5.2 省エネ計算を行う

省エネ計算統合ソフトで“①共通情報”入力後、各機種毎の省エネ計算を行います。

5.2.1 業務用PAC（Mr. SLIM）の省エネ計算

（１）“②省エネ計算”の〔業務用PAC(Mr. SLIM)〕ボタンをクリックします。

（２）条件設定画面が開きます。条件など必要事項をご記入または設定ください。

※共通情報（都市名、契約電力会社、契約種別、部屋用途、設定温度、冷房期間、暖房期間、空調時間帯、1週間の空調日数、冷房期間のみで計算）は、本画面では入力できません。

「5.1 共通情報・空調条件の入力」にて設定した値が設定されています。

①建物負荷手入力：

建物の用途から自動で設定しますが、お客様で入力される場合はチェックしてください。

②契約電力の算出方法：

基本料金の算出根拠を選択できます。通常は定格消費電力から算出しますが、寒冷地などで暖房低温消費電力まで含めた中で最大の値を採用する電力会社などの場合は「最大暖房低温、または定格暖房低温消費電力も含めた消費電力から算出」を選択してください。

(3) 計算する機種のカテゴリのボタンをクリックします。

カテゴリの説明

既設一定速：圧縮機の運転周波数が一定の機種で1990年代前半まで主流だった機種です。

既設インバーター：圧縮機の運転周波数がインバーター回路により可変する機種です。

現在の主流となっています。

インバーター：新品同士の空調機を比較する場合はここから計算してください。

(4) カテゴリを選択すると機種選択画面が開きます。

入力欄は現在使用している旧機種、または比較対象となる機種を入れるブロック（上図“A”）と新たに導入を考えている機種を入力するブロック（上図“B”）の2つのブロックに分かれています。A、Bそれぞれ比較機種を設定してください。20 形名までの設定が可能です。

① 機種タイプ：既設一定速機と既設インバータ機種が混在している場合などは、ここで設定してください。

② 発売年度：発売年度で機種を絞り込む場合に使用します。

③ タイプ：室内機のタイプを選択します。選択できるタイプは下記の通りです。

4 方向天井(人感ムブアイ)／4 方向天井(エリアムブアイ)／4 方向天井(ムブアイ 360)／4 方向天井／2 方向天井(ムブアイ)／2 方向天井／1 方向天井(人感ムブアイ)／1 方向天井(ムブアイ)／1 方向天井／ビルトイン／天埋／天吊(ムブアイ)／天吊／壁掛／床置／厨房／代表機種

- ④ 定格／最大冷房能力 : 計算したい機種種の冷房能力を選択します
一定速機の場合は定格暖房能力を、インバーター機種の場合は最大冷房能力を基準に選定してください。
- ⑤ [検索] ボタン : 「①タイプ」、「②定格(最大)冷房能力」の入力が終わりましたら
[検索] ボタンを押してください。対象となる機種種を絞り込みます。
- ⑥ 機種名 : [検索] ボタンを押した後、機種名の右側の▼を押すと候補の一覧が出てきます。
該当する機種種を選択してください。

- ⑦ 台数 : 台数を選択してください。
- ⑧ 使用年数 : 旧機種の場合のみ使用年数を入力してください。直接数字を入力することも可能です。
- ⑨ 人の出入り : 「4 方向セット(人感ムーブアイ)、1 方向セット(人感ムーブアイ)」を選定した場合、人の出入り状況を選択します。選択は「激しい／通常／考慮しない」です。

- (5) 「ロスナイ効果」を考慮する場合は、[ロスナイ効果を考慮する] にチェックを入れて [ロスナイ機種選定] ボタンをクリックしてください。

- (6) ロスナイ機種選定画面が開きます。

10 形名まで登録可能です。

機種選択後、[ロスナイ機種選定] ボタンを押してください。

- ① 用途 : ロスナイの用途を選択します。選択できるタイプは下記の通りです。
業務用ロスナイ／設備用ロスナイ／店舗用ロスナイ／学校用ロスナイ
- ② タイプ : ロスナイのタイプを選択します。選択できるタイプは下記の通りです。
パワー脱臭カセット形／天吊カセット形／天吊カセット形加湿付／天吊埋込形／
天吊埋込形加湿付／外気処理ユニット(天井埋込形加熱加湿付直膨タイプ)／耐湿形／
外気処理ユニット(床置ビルトイン形加熱加湿付直膨タイプ)／床置形／
床置ビルトイン形加湿付／床置ビルトイン形機械室設置タイプ 加湿付／
ビル用ロスナイパック形／ビル用ロスナイユニット横形／
全カセット形／真下グリル形／天吊露出形／
- ③ 機能 : ロスナイの機能を選択します。選択できる機能は下記の通りです。
スタンダードタイプ／マイコンタイプ<フリーラン対応形>／耐湿形顕熱交換タイプ／
耐湿形全熱交換タイプ
- ④ 風量 : 計算したい機種種の風量を選びます。
- ⑤ 台数 : ▼で選択するか、直接数字(1～99)を入力することも可能です。
- ⑥ 形名 : 機種名の右側の▼を押すと候補の一覧が出てきます。
該当する機種種を選択してください。

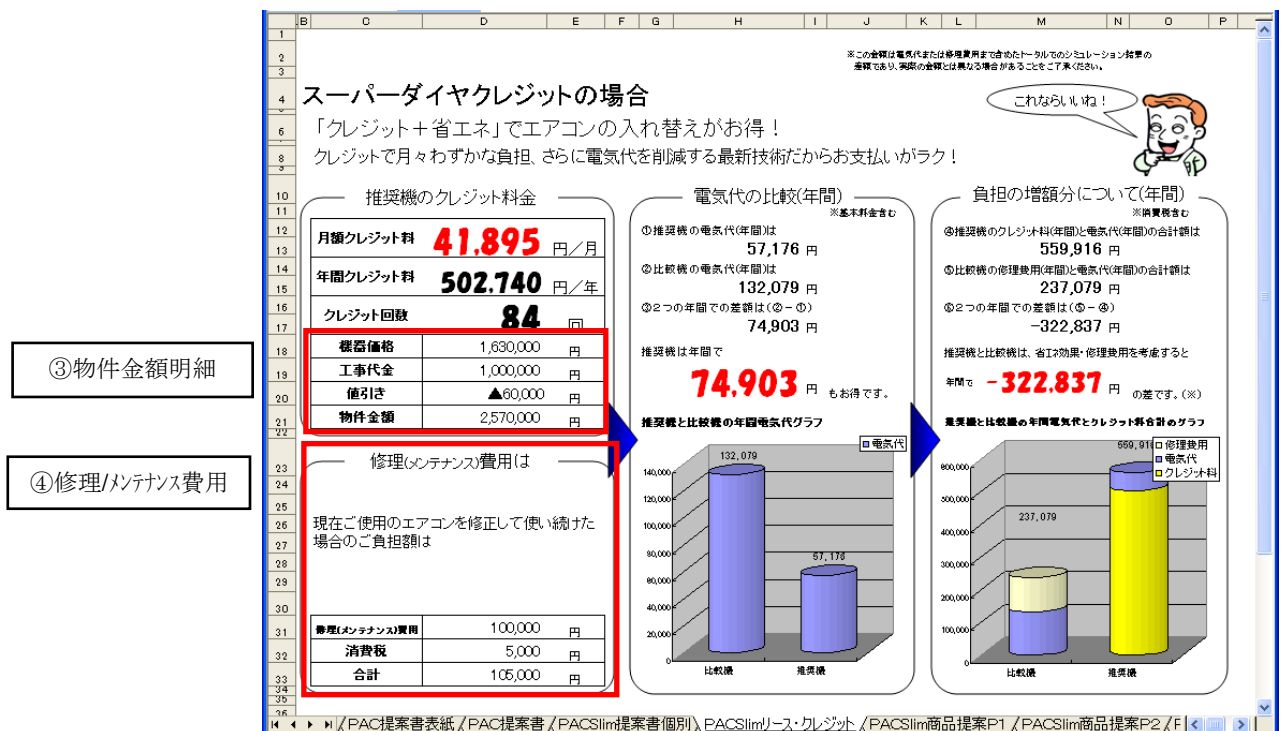
(7) A、Bに比較機種を設定したところで、[提案書選択] ボタンをクリックしてください。

(8) 提案書選択画面が開きます。

- (9) 提案書選択画面で、提案書出力方法を設定して、[業務用書省エネ計算統合ソフトに戻る] ボタンをクリックします。

提案書選択内容は下記の通りです。

- ①基準提案 : リース/クレジット提案書を出力しません。
- ②リース/クレジット提案 : リース/クレジット提案書を出力します。
- ③提案書に物件金額明細を出力する : 下図の物件金額明細を出力します。
- ④既設機 (全システム費用)
 - 修理/メンテナンス : 修理/メンテナンス費用を出力します。
- ⑤推奨機 (全システム費用) : 機器価格、工事費、値引きを設定します。
 - ③をチェックすることで明細が出力されます。
- ⑥リース/クレジット : 提案するリース/クレジットの種類を選択します。
 - リースの場合 : 年数、クレジットの場合 : 回数を選択します。



- (10) 省エネ計算を実行後、初期画面に戻ります。

業務用省エネ計算統合ソフトの初期画面。左側には「計算実行」のメニューがあり、右側には「計算実行」のボタンと「計算結果」の表示領域がある。

5.2.2 ビル用マルチエアコンの省エネ計算

(1) “②省エネ計算”の[ビル用マルチエアコン] ボタンをクリックします。

(2) 条件設定画面が開きます。条件など必要事項をご記入または設定ください。
 ※共通情報（都市名、契約電力会社、契約種別、部屋用途、設定温度、冷房期間、暖房期間、空調時間帯、1週間の空調日数、冷房期間のみで計算）は、本画面では入力できません。
 「5.1 共通情報・空調条件の入力」にて設定した値が設定されています。

①建物負荷手入力：

建物の用途から自動で設定しますが、お客様で入力される場合はチェックしてください。

②契約電力の算出方法：

基本料金の算出根拠を選択できます。通常は定格消費電力から算出しますが、寒冷地などで暖房低温消費電力まで含めた中で最大の値を採用する電力会社などの場合は「最大暖房低温、または定格暖房低温消費電力も含めた消費電力から算出」を選択してください。

(3) 計算する機種のカテゴリのボタンをクリックします。

カテゴリの説明

既設一定速：圧縮機の運転周波数が一定の機種で1990年代前半まで主流だった機種です。

既設インバーター：圧縮機の運転周波数がインバーター回路により可変する機種です。

現在の主流となっています。

インバーター：新品同士の空調機を比較する場合はここから計算してください。

(4) カテゴリを選択すると機種選択画面が開きます。

入力欄は現在使用している旧機種、または比較対象となる機種を入れるブロック（上図“A”）と新たに導入を考えている機種を入力するブロック（上図“B”）の2つのブロックに分かれています。A、Bそれぞれ比較機種を設定してください。10形名まで設定可能です。

- ① **タイプ**：室外機のタイプを選択します。（※）：R2はR2同士でのみ計算できます。
- ② **最大冷房能力**：計算したい機種の最大冷房能力を選択します。
- ③ **「検索」ボタン**：「①タイプ」、「②最大冷房能力」の入力が終わりましたら「検索」ボタンを押してください。対象となる機種を絞り込みます。（「②最大冷房能力」の入力をしなくても検索できます。）

- ④ 機種名 : [検索] ボタンを押した後、機種名の右側の▼を押すと候補の一覧が出てきます。
該当する機種を選択してください。

既設インバーター機種選定

タイプ	最大冷房能力[kW]	既設インバーター機種名	台数	使用年数	室内機表示
1 マルチR2	22.4	検索			室内機表示
2		検索			室内機表示
3		検索			室内機表示
4		検索			室内機表示

候補一覧

- PURY-200M-A
- PURY-J224M-A
- PURY-J224M-B
- PURY-P224M-B
- PURY-P224EM-A
- PURY-P224M-E
- PURY-P224CM-E
- PURY-P224CM-E1

- ⑤ 台数 : 台数を選択してください。
- ⑥ 室内機表示 : 室内機表示画面が開きます。
表示された室内機を接続した場合
での計算を行います。
確認後「OK」をクリックします。

室内機表示

No. 1

室外機: PURY-P224CMG1

室内機

形名 PLFY-P112BMG1 台数 2

OK

- ⑦ E 制御ライセンス : E 制御ライセンスの効果を反映させる場合はチェックを入れてください。
- ⑧ I7-搬送ファン設置 : エア搬送ファン設置での効果を反映させる場合はチェックを入れてください。パターンの選択も必要になります。
- ⑨ I7-搬送ファン連動+系統集約 : エア搬送ファン連動での効果を反映させる場合はチェックを入れてください。パターンの選択も必要になります。

- (5) A, Bに比較機種を設定したところで、
[業務用省エネ計算統合ソフトに戻る] ボタンを
クリックしてください。

既設インバーター機種選定

タイプ	最大冷房能力[kW]	既設インバーター機種名	台数	使用年数	室内機表示
1 マルチR2	22.4	検索	1	10	室内機表示
2		検索			室内機表示
3		検索			室内機表示
4		検索			室内機表示
5		検索			室内機表示

インバーター機種選定

タイプ	最大冷房能力[kW]	インバーター機種名	台数	室内機表示
1 マルチR2 (A)	22.4	PURY-P224CMG1	1	室内機表示
2				室内機表示
3				室内機表示
4				室内機表示
5				室内機表示

※注1: 能力入力後、機種名を選択してください。該当する機種名がリストアップされた状態で表示されます。
※注2: 能力入力後、機種名を選択してください。該当する機種名がリストアップされた状態で表示されます。

業務用省エネ計算統合ソフトに戻る

- (6) 省エネ計算を実行後、初期画面に戻ります。

業務用省エネ計算統合ソフト

省エネ計算実行後、初期画面に戻ります。

5.2.3 設備用PACの省エネ計算

- (1) “②省エネ計算”の[設備用PAC]ボタンをクリックします。

- (2) 条件設定画面が開きます。条件など必要事項をご記入または設定ください。
 ※共通情報（都市名、契約電力会社、契約種別、部屋用途、設定温度、冷房期間、暖房期間、空調時間帯、1週間の空調日数、冷房期間のみで計算）は、本画面では入力できません。
 「5.1 共通情報・空調条件の入力」にて設定した値が設定されています。

①建物負荷手入力：

建物の用途から自動で設定しますが、お客様で入力される場合はチェックしてください。

②契約電力の算出方法：

基本料金の算出根拠を選択できます。通常は定格消費電力から算出しますが、寒冷地などで暖房低温消費電力まで含めた中で最大の値を採用する電力会社などの場合は「最大暖房低温、または定格暖房低温消費電力も含めた消費電力から算出」を選択してください。

- (3) 計算する機種のカテゴリのボタンをクリックします。

カテゴリの説明

既設一定速：圧縮機の運転周波数が一定の機種で1990年代前半まで主流だった機種です。

既設インバーター：圧縮機の運転周波数がインバーター回路により可変する機種です。

現在の主流となっています。

インバーター：新品同士の空調機を比較する場合はここから計算してください。

(4) カテゴリを選択すると機種選択画面が開きます。

入力欄は現在使用している旧機種、または比較対象となる機種を入れるブロック（上図“**A**”）と新たに導入を考えている機種を入力するブロック（上図“**B**”）の2つのブロックに分かれています。A、Bそれぞれ比較機種を設定してください。20 形名までの設定が可能です。

① **タイプ** : 室外機のタイプを選択します。選択できるタイプは下記の通りです。

INV機 : 一般空調用床置、一般空調用床置高効率、一般空調用天吊
既設INV機 : 一般空調用床置、一般空調用床置高効率、一般空調用天吊
既設一定速 : 一般空調用床置

② **定格／最大冷房能力** : 計算したい機種の冷房能力を選択します

一定速機の場合は定格暖房能力を、インバーター機の場合は最大冷房能力を基準に選定してください。

③ **〔検索〕ボタン** : 「①タイプ」、「②定格(最大)冷房能力」の入力が終わりましたら「検索」ボタンを押してください。対象となる機種を絞り込みます。

④ **機種名** : 「検索」ボタンを押した後、機種名の右側の▼を押すと候補の一覧が出てきます。該当する機種を選択してください。

⑤ 台数 : 台数を選択してください。

⑥ 使用年数 : 使用年数を入力してください。直接数字を入力することも可能です。
(旧機種の場合のみ)

機種選定

既定インバーター機種選定

タイプ	最大冷房能力[kW]	既定インバーター機種名	台数	使用年数
1 一般空調用床置	22.4	検索 PPHV-P224M-E	1	10
2		検索		
3		検索		
4		検索		
5		検索		

インバーター(推奨値)機種選定

タイプ	最大冷房能力[kW]	インバーター機種名	台数
1 一般空調用天井	22.4	検索 PPHV-P2240M-E	1
2		検索	
3		検索	
4		検索	
5		検索	

*)タイプ、能力を入力後、検索ボタンを押してください。該当する機種名がプルダウンのリストに表示されます。

6機種以上入力する場合は、スクロールしてください。

条件設定画面に戻る

業務用省エネ計算統合ソフトに戻る

[illegible]

5.2.4 照明の省エネ計算

(1) “②省エネ計算”の[照明]ボタンをクリックします。

(2) 条件設定画面が開きますので条件など必要事項を設定してください。
(初期画面で入力しました“①共通情報”は、本画面では網掛けで入力できません。)

契約種別	契約容量	電気料金	用途
従量電灯 丙	6kVA以上 50kW未満	27.0	オフィス・店舗(小形)
業務用電力	50kW以上	21.0	オフィス・店舗・体育館・ クラブ・トンネル・道路
小口電力	500kW未満	21.0	工場(小形)
大口電力	500kW以上	13.0	工場(大形)

① 電気契約料金 : お客様の契約している電気料金を選択してください。
入力が完了しましたら[器具選択画面へ]をクリックし、次の手順に進んでください。

(3) 省エネ計算を行う照明器具を選択する画面が開きますので、既存器具と提案器具を選択します。

1) 既存器具を選択する

- ①ランプ区分：ランプの種別を選択してください。
 - ②ランプ詳細（種類、本数）：①で選択したランプの詳細を選択してください。
 - ③定格など：既存器具データベースでは全て「-」になっているので「-」を選択して下さい。
 - ④器具形状：器具の形状を選択してください。
- (※) ランプ区分・詳細による絞りこみ機能がないため照明器具すべての形状が表示されます。
- ⑤年間点灯時間：年間点灯時間を入力してください。※ガイドを開くと参考時間が表示されます。
 - ⑥消費電力：①～④で選択した器具の消費電力が自動的に表示されます。変更はできません。
 - ⑦ランプ光束：①～④で選択した器具の消費電力が自動的に表示されます。変更はできません。
 - ⑧台数：器具台数を入力してください。

★個人データベースに登録

登録器具データに省エネ計算を行いたい器具がない場合、任意で器具を登録できます。

(※) 詳細説明・注意事項は「(6) 個人データベース登録」を参照ください。

2) 提案器具を選択する

●区分から検索か形名から検索のどちらかを選択します。

・区分から検索

- ①ランプ区分：ランプの種別を選択してください。
- ②ランプ詳細（種類、本数）：①で選択したランプの詳細を選択してください。
- ③器具形状：器具の形状を選択してください。
- ④器具形名：①～③で選択した条件で該当する形名が表示されます。提案器具形名を選択してください。

・形名から検索

- ⑤形名から検索：形名を入力し「検索ボタン」をクリックします。該当形名を選択して下さい。
(※) 前方一致で絞りこみが可能です。

・その他条件の入力

- ⑥希望小売価格：①～⑤で選択した器具の希望小売価格が自動的に表示されます。変更はできません。
- ⑦年間点灯時間：年間点灯時間を入力してください。ガイドを開くと参考時間が表示されます。
- ⑧消費電力：①～⑤で選択した器具の消費電力が自動的に表示されます。変更はできません。
- ⑨ランプ光束：①～⑤で選択した器具のランプ光束を自動的に表示します。変更はできません。
(※) LED器具の場合、ランプ光束＝器具光束となるため他の器具より光束が低く表示されます。計算結果に影響はございません。参考値として認識ください。
- ⑩台数：設置予定の器具台数を入力してください。

★個人データベースに登録

登録器具データに省エネ計算を行いたい器具がない場合、任意で器具を登録できます。

(※) 詳細説明・注意事項は「(6) 個人データベース登録」を参照ください。

3) 提案器具の登録およびクリアをする

照明器具省エネ計算ソフト Ver.1.00.01 - 照明器具選択

既存照明器具選択

ランプ区分: コンパクト蛍光灯ランプ(FHT)
ランプ詳細(種類、本数): FHT42x1
定格など: -
器具形状: ダウンライト
年間点灯時間: 3000 h ガイド
消費電力: 47 W/台
ランプ光束: 3200 lm/台
台数: 10 台

個人データベースに登録
器具データ新規登録画面
器具データ削除
器具形状削除

提案照明器具選択

区分から検索
ランプ区分: LED
ランプ詳細(種類、本数): 【クラス200】LED225x1
器具形状: LEDダウンライト
器具形名: AKLD4200W/L ALN

形名から検索
器具形名: AKLD4200W/L ALN 検索

希望小売価格: 34800 円
年間点灯時間: 3000 h ガイド
消費電力: 225 W/台
ランプ光束: 1480 lm/台
台数: 10 台

個人データベースに登録
器具データ新規登録画面
器具データ削除

1/15

←条件入力画面へ 登録 クリア 一覧表示画面へ→

- ①登録：全項目の入力が完了しましたら[登録]をクリックし、次の器具の選択してください。
- ②クリア：現在の入力しているデータを削除します。
- (※) 既に登録しているデータは削除されません。
- ③-/15：現在登録している機種数を表示します。最大 15 機種まで登録可能です。

基本条件を変更したい場合は[←条件入力画面へ]をクリックし、前画面に戻ってください。

登録が完了しましたら[器具一覧画面へ→]をクリックし、次の手順に進んでください。

- (4) 照明器具選択画面で登録した器具データを一覧で表示します。
- 登録データの変更・削除もこちらから行います。

照明器具省エネ計算ソフト Ver.1.00.01 - 照明器具一覧

No.	既存器具	点灯時間 消費電力 光束	台数	提案器具	提案形名 希望小売価格	点灯時間 消費電力 光束	台数	
1	コンパクト蛍光灯ランプ(FHT) FHT42x1 ダウンライト	3000 47 3200	10	LED 【クラス200】LED225x1 LEDダウンライト	AKLD4200W/L ALN 34800	3000 225 1480	10	変更 削除
2	筒形蛍光灯ランプ(ルクセントスクエア標準灯) B80BL180(片面) 筒形標準蛍光灯B80BL180	3000 53 -	10	LED 標準灯LED LED標準灯B80BL180片面直付	F5SH2951A TEL 45800	3000 19 -	10	変更 削除
3	直管蛍光灯ランプ(FLR) FLR40x2 - 三菱電機	3000 66 6000	30	直管省エネルギーランプ(HI) FHF52x2 三菱電機	FV4382LS LVWF(FHF)(Easyecoコン クレータ型) 25000	3000 68 6940	30	変更 削除
4	ダイクロイックミラー付ハロゲンランプ(JR) JF80x1 スポットライト	3000 50 -	10	LED 【クラス200】LED100x1 LEDスポットライト	EL-S600W/W 調光・レス2選 25000	3000 10 430	10	変更 削除
5								変更 削除
6								変更 削除

←条件入力画面へ ←追加器具登録

業務用省エネ計算統合ソフトに戻る

- ①変更：登録データを変更したい場合には[変更]をクリックし、データの修正をしてください。

- ②削除：登録データを削除したい場合には[削除]をクリックし、データの削除をしてください。
- ③追加器具登録：更に器具を追加したい場合、[←追加器具登録]をクリックし、前画面に戻ってください。
- ④条件入力画面：基本条件を変更したい場合は[←条件入力画面へ]をクリックし、前々画面に戻ってください。
- (※)既に登録しているデータは削除されません。

(5) 設定が終了しましたら、[業務用省エネ計算統合ソフトに戻る] ボタンを押してください。

(6) 個人データベース登録

個人データベース登録とは、省エネ計算を行う照明器具を選択する際、登録データベースにない器具をユーザーが任意に登録できるマニュアル入力機能です。□
機能を使うとユーザーオリジナルのデータベースを作成する事が可能です。

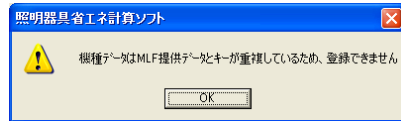
●既存照明器具 個人データベース登録と削除

既存器具の個人データベースの登録と削除は下記の手順で行ってください。

1) 登録

- ①照明器具：画面（説明(3), 1)）既存器具欄右下にある[個人データベース新規登録]ボタンをクリックしてください。
- ②下記画面が表示されますので、任意の器具データを入力してください。

- (※) 各項目が既存の登録データと同じ名称の場合、データベース管理のため登録ができず下記の注意画面が表示されます。別名称を入力して下さい。



- ③全項目を入力したことをご確認の上、[登録]ボタンを押してください。
 (※) 該当項目のみの登録機能はございません。
 お手数ですが、全項目を入力の上、[登録]ボタンを押してください。
 ④登録したデータが選択項目の最下段に表示されます。

2) 削除

登録データ削除は、①器具データ削除と②器具形状削除の2つに分かれています。
 各削除方法は下記手順で行ってください。

①器具データ削除

個人登録した ランプ区分・ランプ詳細・定格・消費電力・ランプ光束を削除できます。

- (ア) 照明器具一覧画面(説明(3), 1)) 既存器具欄右下にある[器具データ削除]ボタンをクリックしてください。
 (イ) 削除画面が表示されますので削除したいデータにチェックをいれ[削除]ボタンをしてください。



- (ウ) 削除中の画面が表示され、登録したデータが削除されます。

②器具形状削除

個人登録した器具形状を削除できます。

- (ア) 照明器具一覧画面(説明(3), 1)) 既存器具欄右下にある[器具形状削除]ボタンをクリックしてください。
 (イ) 削除画面が表示されますので削除したいデータにチェックをいれ[削除]ボタンをしてください。



- (ウ) 削除中の画面が表示され、登録したデータが削除されます。

●提案照明器具 個人データベース登録と削除

提案器具の個人データベースの登録と削除は下記の手順で行ってください。

1) 登録

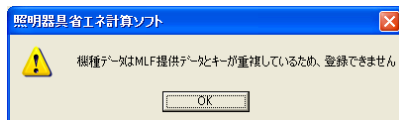
- ①照明器具一覧画面（説明(3), 1)）提案器具欄右下にある[個人データベース新規登録]ボタンをクリックしてください。
- ②下記画面が表示されますので、任意の器具データを入力してください。

照明器具省エネ計算ソフト Ver.1.00.01 - 提案照明器具登録

ラング区分	LED
ラング詳細(種類、本数)	LEDx4
器具形状	スクエア
器具形名	SP
希望小売価格	20000 円
消費電力	30 W/台
光束	3000 lm/台

登録 キャンセル

- (※) 各項目が既存の登録データと同じ名称の場合、データベース管理のため登録ができず、下記の注意画面が表示されます。別名称を入力して下さい。



- ③全項目を入力したことをご確認の上、登録ボタンを押してください。
お手数ですが、全項目を入力の上、登録ボタンを押してください。
- ④登録したデータが選択項目の最下段に表示されます。

2) 削除

登録データ削除は、下記手順で行ってください。

- ①照明器具一覧画面（説明(3), 1)）提案器具欄右下にある[器具データ削除]ボタンをクリックしてください。
- ②削除画面が表示されますので削除したいデータにチェックをいれ[削除]ボタンをしてください。

照明器具省エネ計算ソフト Ver.1.00.01 - 提案器具削除

ラング区分	ラング詳細	器具形状	形名
<input checked="" type="checkbox"/>	LED	LEDx4	スクエア
<input type="checkbox"/>			SP

※Ctrlキーを押しながらClickすると複数選択できます

削除 キャンセル

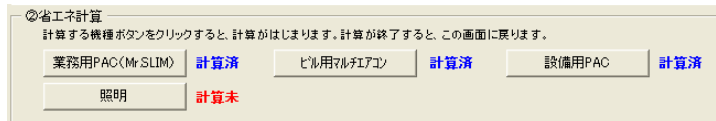
い。

- ③削除中の画面が表示され、登録したデータが削除されます。

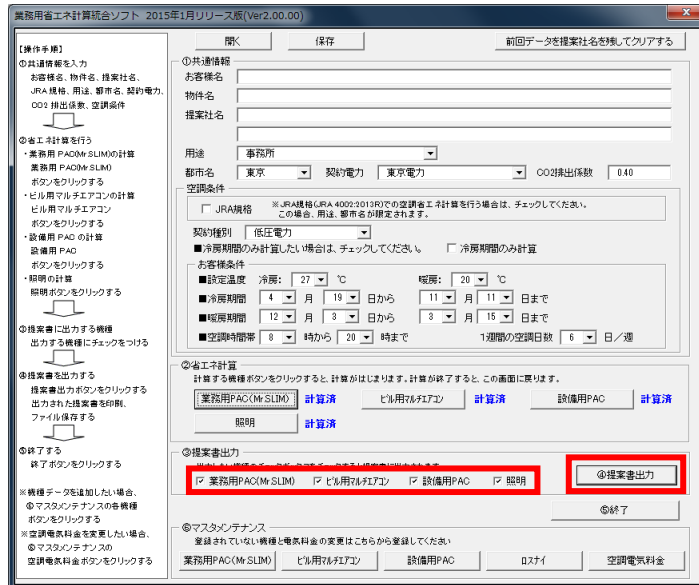
5.3 提案書の出力

5.3.1 提案書の出力

各機種の省エネ計算が完了すると、省エネ計算の各機種ボタン横の計算表示が、**計算未**から**計算済**に変更されます。**計算済**となった機種についてのみ、提案書出力することができます。



(1) 提案書出力の枠の中で提案書出力する機種のチェックボックスをチェックします。



(2) 提案書出力ボタンを押します。

「提案書ファイルの保存」画面が表示されます。ファイル名をつけて「保存」ボタンをクリックします。

(3) 提案書出力中の画面となります。

提案書は EXCEL ファイルで出力されます。

提案書出力まで1、2分かかることもありますので、お待ちください。



5.3.2 提案書の内容の確認

次の手順で確認することができます。

「イントロ省エネ法P 1」に切り替えるには、イントロ省エネ法P 1のタブをクリックします。



タブを右クリックし、ポップアップメニューから [すべてのシートを選択] をクリックするとすべてのシートが選択されます。

5.3.3 提案書の印刷

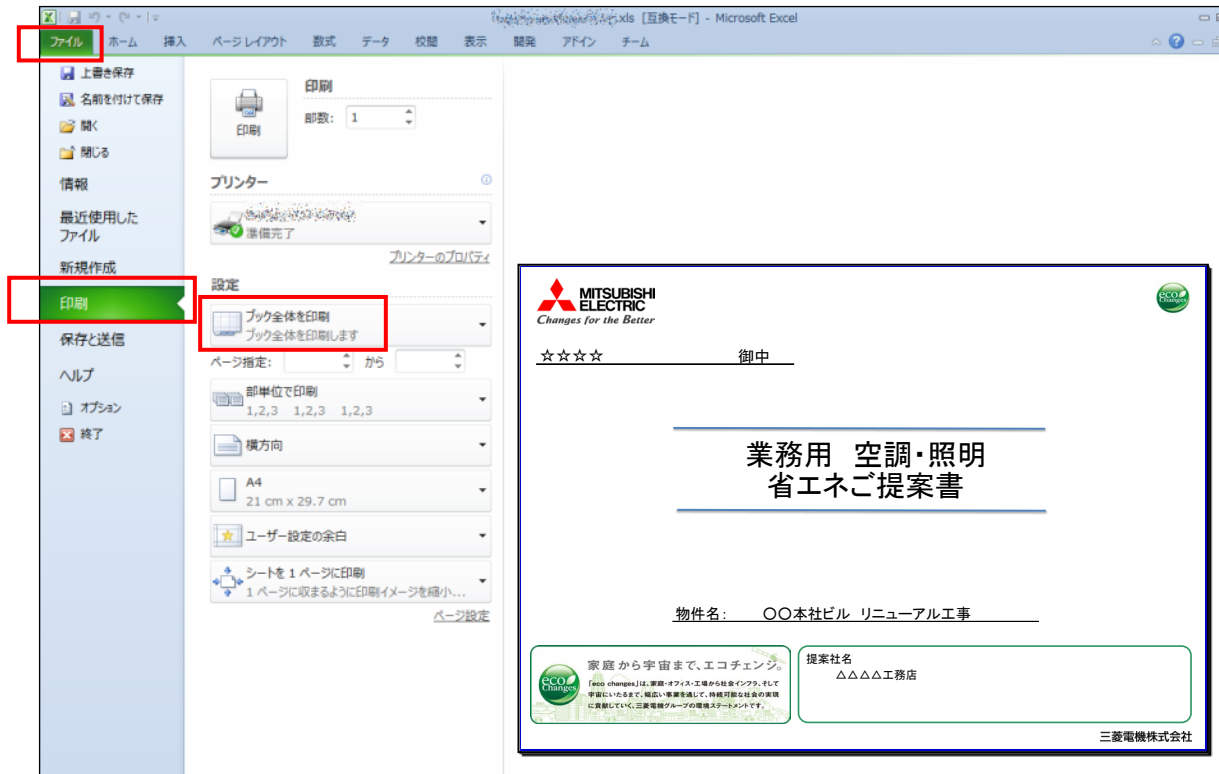
EXCEL 出力した提案書は、EXCEL の機能で印刷できます。

5.3.2 項の手順で内容をご確認の上、必要と思われるシートを適宜印刷ください。

一般的な印刷方法を下記に示します。

(A) 全シートの印刷

① [ファイル] - [印刷] の順にクリックします。



②設定項目にて、「ブック全体を印刷」を選択し、印刷ボタンをクリックします。

③全てのシートが印刷されます。

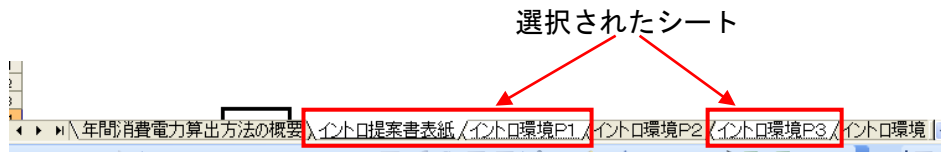
(B) 選択したシートの印刷

①印刷するシートを選択します。

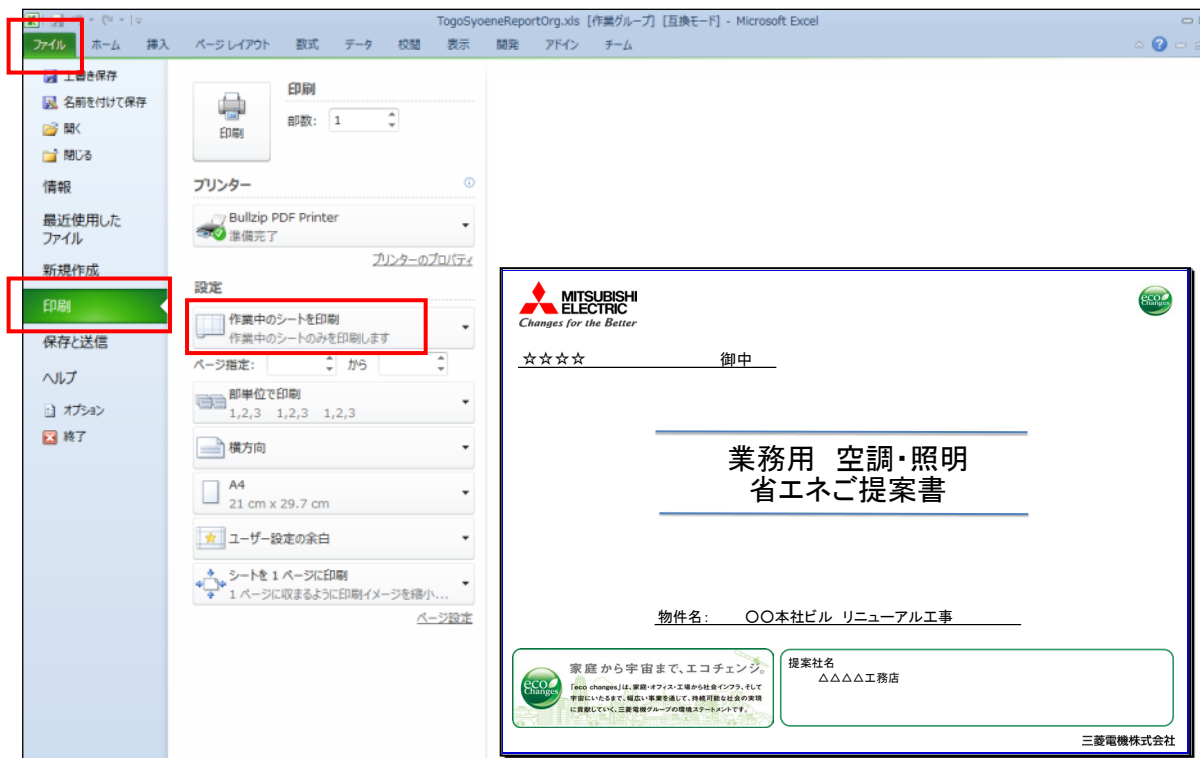
(※) CTRL キーを押しながらシートのタブをクリックすることで、複数シートを選択することができます。

- ・選択されていないシートを CTRL キーを押しながらクリックすることで、選択。
- ・選択されているシートを CTRL キーを押しながらクリックすることで、選択解除となります。

選択後、選択されたシートのタブをクリックすることで、選択シート内容の確認ができます。



② [ファイル] - [印刷] の順にクリックします。



③設定項目にて、「作業中のシートを印刷」を選択し、印刷ボタンをクリックします。

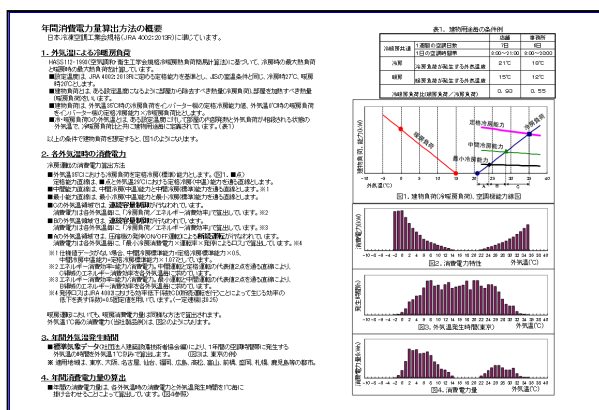
④選択したシートが印刷されます。

6. 提案書の内容

出力される提案書は、年間消費電力算出方法の概要、イントロダクション、省エネ計算結果（全体）、PAC省エネ計算結果概要、PAC省エネ計算結果詳細、PAC提案資料、照明器具省エネ計算結果概要、照明器具省エネ計算結果詳細、照明器具提案資料、中長期計画書の順で出力されます。

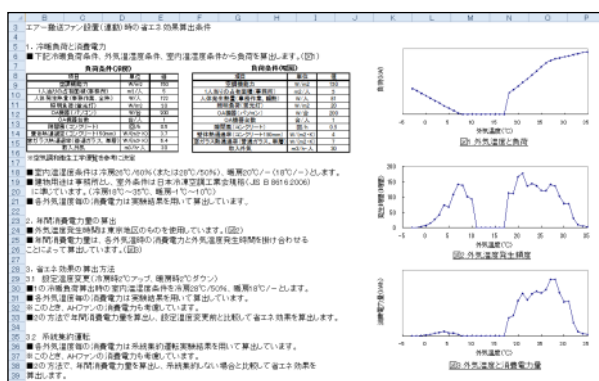
出力内容をシート毎に下記に示します。

①年間消費電力算出方法の概要



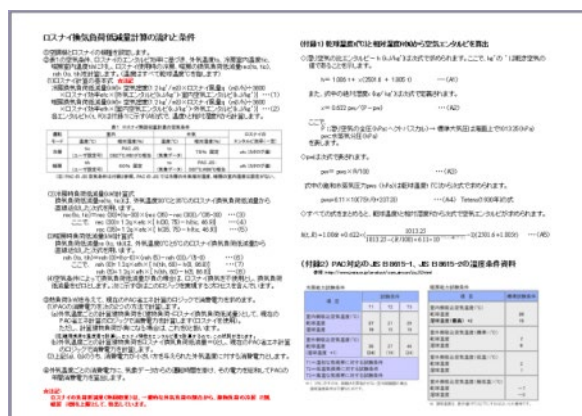
年間消費電力算出方法の概要
です。

②エアー搬送ファン設置時(連動)時の省エネ効果算出条件



エアー搬送ファン設置時(連動)時の省エネ効果算出条件です。

③ロスナイ換気負荷低減量計算の流れと条件



ロスナイ換気負荷低減量計算
の流れと条件です。

④イントロ提案書表紙

空調・照明の省エネ提案書の表紙です。

(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせ提案書出力する場合に出ます。)

⑤イントロ省エネ法P1

I.省エネ法の概要を説明する資料です。

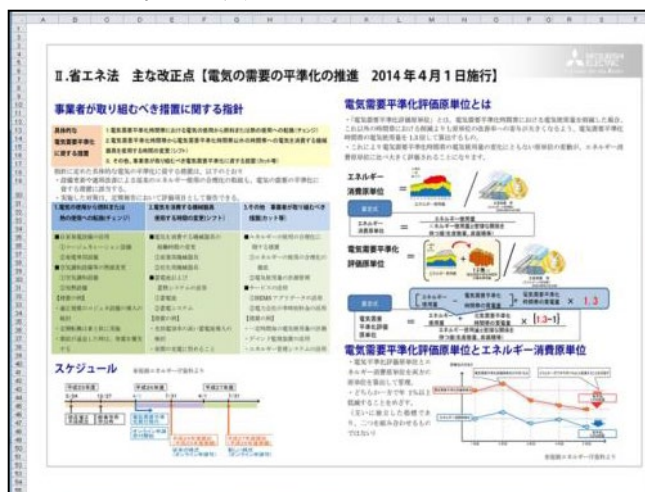
(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせ提案書出力する場合に出ます。)

⑥イントロ省エネ法P2

II.省エネ法 主な改正点を説明する資料です。

(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせ提案書出力する場合に出ます。)

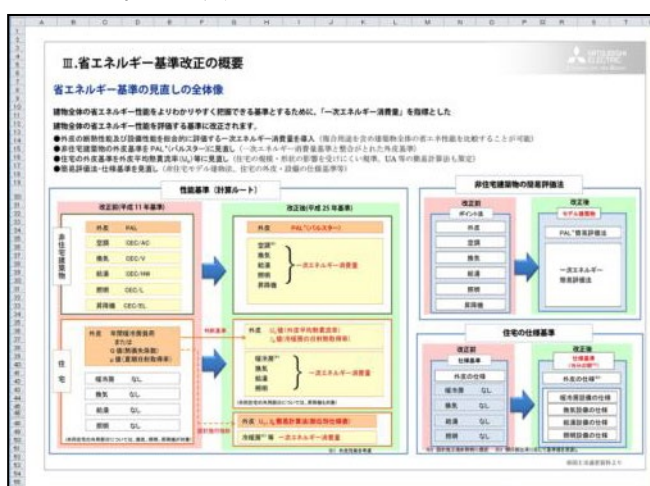
⑦ イントロ省エネ法P3



Ⅱ.省エネ法 主な改正点を説明資料です。(前ページの続き)

(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせで提案書出力する場合に出ます。)

⑧イントロ省エネ法P4



Ⅲ.省エネルギー基準改正の概
要を説明する資料です。

(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせで提案書出力する場合に出ます。)

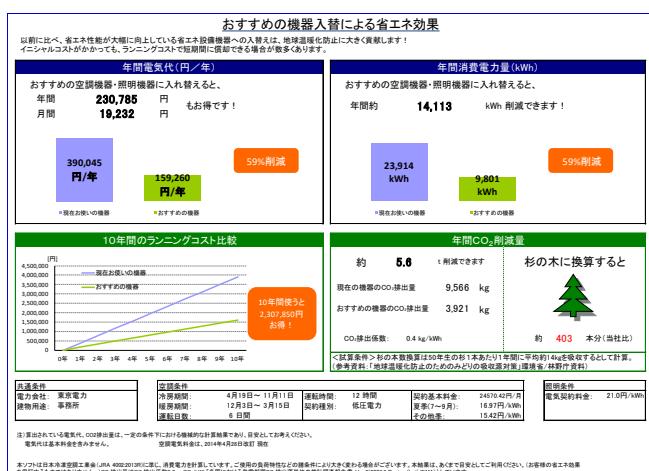
⑨イントロ省エネ法P5



Ⅲ.省エネルギー基準改正の概要を説明する資料です。(前ページの続き)

(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせ提案

⑩イントロ提案書



空調機器と照明器具合算の省
エネ比較。

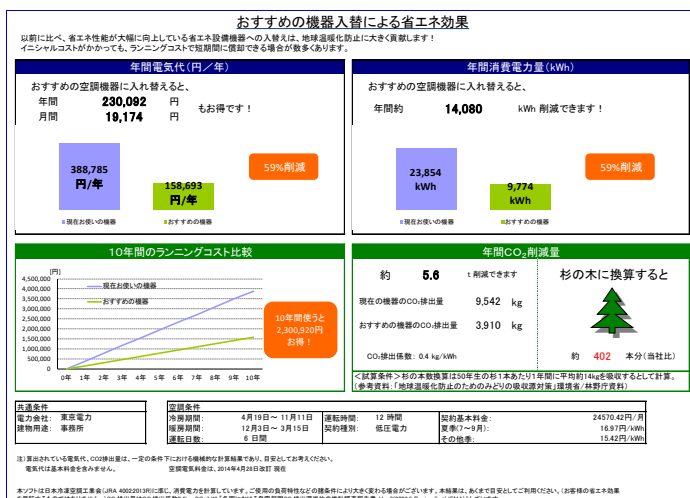
現在の機器を推奨機器に入れ替えた場合の月間、年間での電気代差、10年間でのランニングコスト比較、年間CO₂削減量を表示します。

(空調機種群〔スリム、ビル用マルチ、設備PAC〕と照明を組み合わせで提案書出力する場合に出ます。)

⑪ P A C 提案書表紙

空調機器の省エネ提案書の表紙です。

⑫ P A C 提案書



空調機器での省エネ比較。月間、年間での電気代差、10年間でのランニングコスト比較。CO₂排出量を表示します。

業務用 P A C の省エネ計算結果。

⑬PACSLim 提案書個別

[illegible]

⑭PACMulti 提案書個別

[illegible]

⑮PAC 設備用提案書個別

省エネ計算結果

＜試算条件＞

所在地	東京都	空調期間	8 月 ～ 23 月
建物用途	事務所	冷暖房期	20.8 月 (室内気温21℃)
使用期間	10 月 19 日 ～ 11 月 11 日	暖房期	11.0 月 (室内気温19℃)
使用期間	12 月 3 日 ～ 3 月 15 日	冷房期	27.7 月 (室内気温27℃)
使用期間	4 月 6 日 ～	電力消費／燃料費別	東京電力 広圧電力

＜年間電気代試算結果＞

性能一定値						
番号	機種名	台数	最大電力(W)	年間電力(kWh)	年間電気代	
		台数	消費	消費	消費	合計
1	1P100V/2200W (100%)	1	23.0	260.12	1731	9209
2						27.1 年分
3						131.5 年分
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
合計		1	23.0	260.12	1731	9209

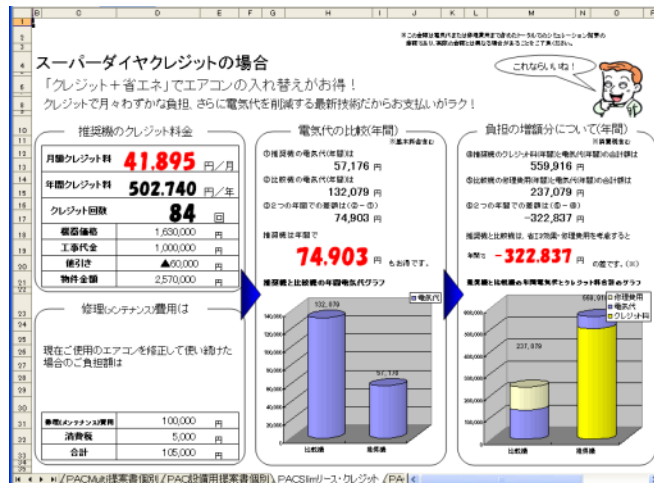
＜年間電気代明細＞

消費電力 (1日 1台電力230VA、その他120VA)	8.88 kWh/日			576 kWh/年
使用期間 (10月・11月・12月)＝	120.0 日			76.1 年分
基本消費電 1000kWh (月・月×12ヶ月)＝	52.73 kWh/月			42.5 年分
追加消費電 変圧器(1ヶ月) 16.27 月 kWh＝	89.9 月	(従量電気は変圧器年間)	2933 kWh＝	337 年分
その他電 15.62 月 kWh＝	62.1 月		251.3 kWh＝	157.4 年分
合計				

※ 計算結果について、機器は全数標準的な電力消費率(100%)と、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。
 ※ 1. 基本消費電力と追加消費電力は24時間消費電力です。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 2. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 3. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 4. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 5. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 6. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 7. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 8. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 9. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 10. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 11. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 12. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 13. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 14. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 15. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 16. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 17. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 18. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 19. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 20. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 21. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 22. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 23. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 24. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 25. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 26. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 27. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 28. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 29. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 30. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 31. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 32. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 33. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 34. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 35. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 36. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 37. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 38. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 39. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 40. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 41. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 42. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 43. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 44. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 45. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 46. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 47. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 48. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 49. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 50. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 51. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 52. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 53. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 54. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 55. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 56. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 57. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 58. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 59. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 60. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 61. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 62. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 63. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 64. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 65. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 66. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 67. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 68. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 69. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 70. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 71. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 72. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 73. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 74. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 75. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 76. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 77. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 78. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 79. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 80. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 81. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 82. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 83. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 84. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 85. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 86. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 87. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 88. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 89. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 90. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 91. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 92. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 93. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 94. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 95. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 96. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 97. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 98. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 99. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 100. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 101. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 102. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 103. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 104. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 105. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 106. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 107. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 108. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 109. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 110. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 111. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 112. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 113. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 114. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 115. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 116. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 117. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 118. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 119. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 120. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 121. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 122. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 123. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 124. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 125. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 126. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 127. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 128. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 129. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 130. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 131. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 132. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 133. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 134. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 135. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 136. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 137. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 138. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 139. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 140. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 141. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 142. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 143. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 144. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 145. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 146. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 147. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 148. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 149. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 150. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 151. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 152. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 153. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 154. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 155. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 156. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 157. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 158. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 159. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 160. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 161. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 162. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 163. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 164. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 165. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 166. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 167. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 168. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 169. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 170. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 171. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 172. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 173. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 174. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 175. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 176. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 177. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 178. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 179. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 180. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 181. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 182. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 183. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 184. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 185. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 186. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 187. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧低下に起因する消費電力を考慮していません。
 ※ 188. 追加消費電力は、基本消費電力について、標準的な使用電圧(100V)を前提として算出しています。電圧変動による電圧

設備用 PAC の省エネ計算結果。

⑩PACSlim リース／クレジット提案書



リース/クレジットでの提案
資料

⑪PACSl im 商品提案P 1



スリム ZR の説明資料です。

⑮PACSLim 商品提案 P 2



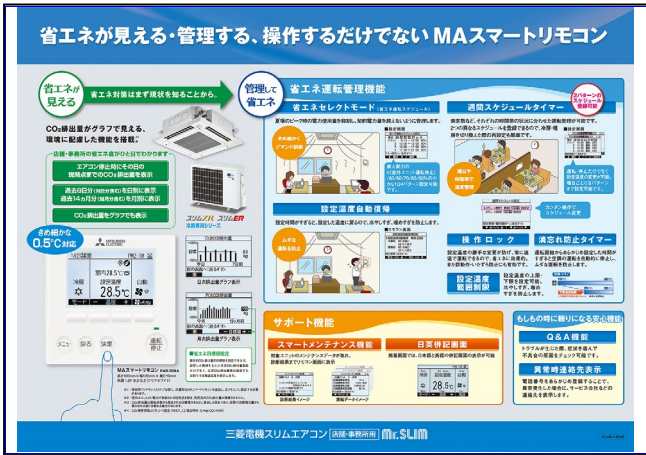
人感ムーブアイによる
省エネ提案用資料です。

⑱PACSI im 商品提案 P 3



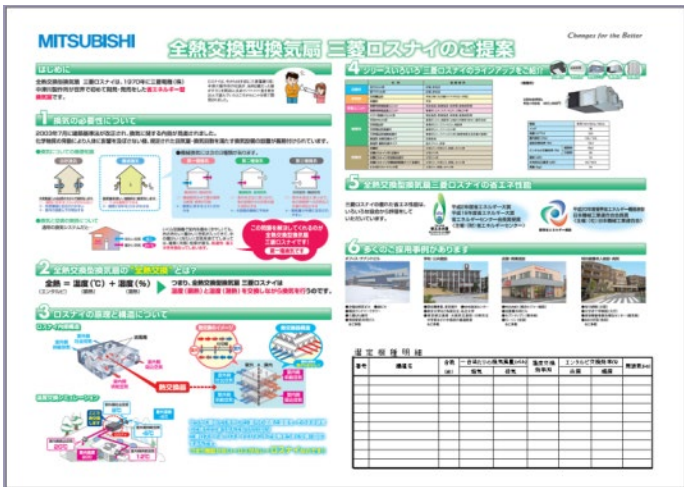
ズバ暖スリムの
提案資料です。

⑳PACSI im 商品提案 P 4



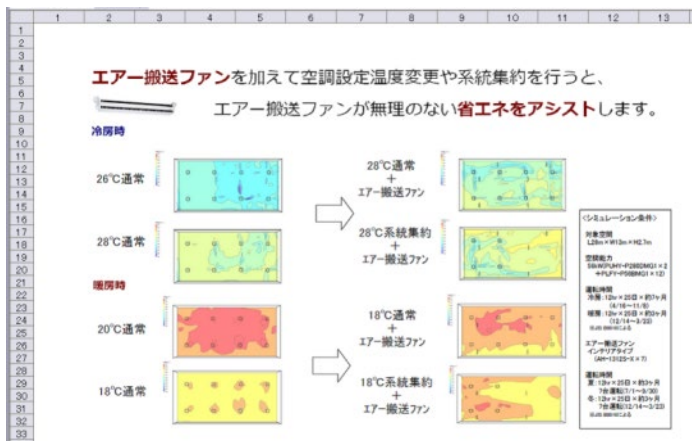
リモコン管理による
省エネ提案資料です。

㉑ロスナイ商品提案 P 1



ロスナイによる省エネなどの
技術説明資料です。

②②エア搬送ファン（設置パターン××）気流分布



エア搬送ファンによる気流分布資料です。

②PACMulti 商品提案P 1



ビル用マルチエアコンのグラ
ンマルチ、リプレースグラン
マルチ室外ユニットの説明資
料です。

②4 PACMulti 商品提案 P 2



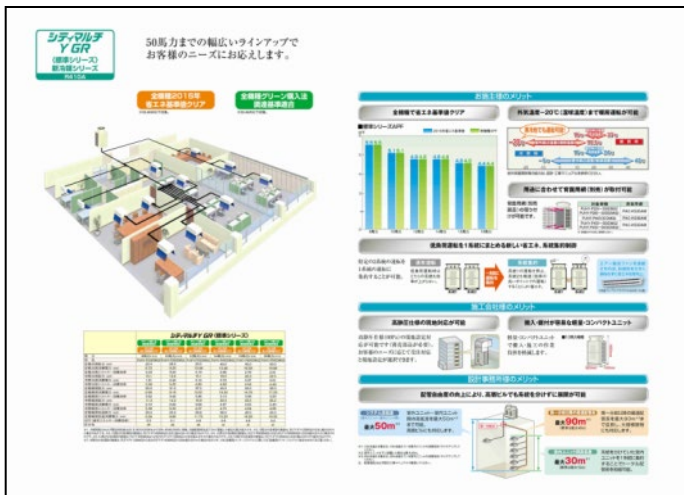
空調冷熱総合管理システム
AE-200J の説明資料です。

⑥PACMulti 商品提案 P 3



ビル用マルチエアコンのシティマルチ YGR (高効率) 室外ユニットによる省エネなどの技術説明資料です。

⑥PACMulti 商品提案 P 4



ビル用マルチエアコンのシティマルチ YGR (標準) 室外ユニットによる導入メリットなどの説明資料です。

⑦PACMulti 商品提案 P 5



ビル用マルチエアコンのリブレースグランマルチ室外ユニットによる導入メリットなどの説明資料です。

⑳PACMulti 商品提案 P 6

ビル用マルチエアコンのリリースマルチ YGR (標準) 室外ユニットによる導入メリットなどの説明資料です。

㉑PAC 設備用商品提案 P 1

設備用 PAC 各シリーズ別の提案資料です。

㉒PAC 設備用商品提案 P 2

設備用 PAC 各シリーズ別の提案資料です。

③①照明提案書表紙

照明器具
省エネご提案書

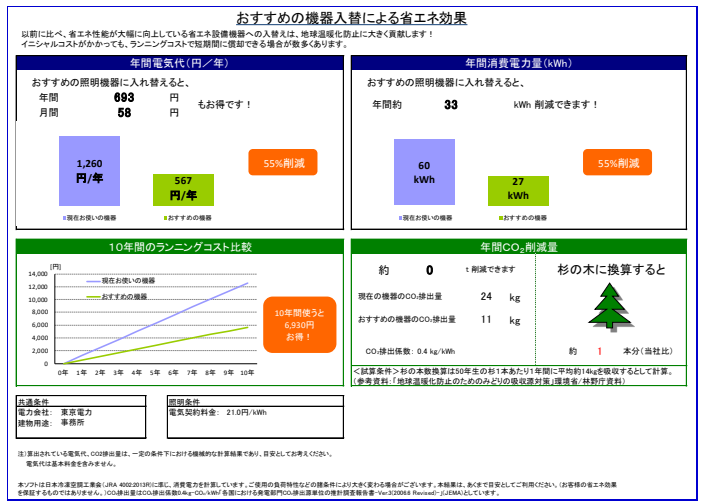
物件名: _____

提案社名: _____

三菱電機株式会社

照明機器の省エネ提案書の表紙です。

③②照明提案書



照明での省エネ比較。月間、年間での電気代差、10年間でのランニングコスト比較。CO₂排出量を表示します。

③③照明提案書個別

照明器具一覧											
現在の照明器具						ご提案の照明器具					
ランプ区分	ランプ型番	数量	器具電圧(V)	消費電力(W)	光束lm	ランプ区分	ランプ型番	数量	器具電圧(V)	消費電力(W)	光束lm
LED照明	PHF2240	1	220V	22W	2,200lm	LED照明	PHF2240	1	220V	22W	2,200lm
合計		1		22W	2,200lm	合計		1		22W	2,200lm

各機種の消費電力量、光束、年間電気代、計算条件などを表示します。

③4照明商品提案 P 1

三菱LED照明 **milie** LED照明の取り組み

3つの設計技術

次世代のLED光源でより高い照明環境実現へ。
三菱電機照明は、3つの設計技術で照明器具開発に取り組んでいます。

光学設計 照明空間に合わせた、光の配光を設計。光の配光を設計することで、照明空間の照明環境を最適化します。

熱設計 LED光源の発熱を抑えることで、照明器具の寿命を延長します。LED光源の発熱を抑えることで、照明器具の寿命を延長します。

電圧設計 LED光源の電圧を安定化することで、照明器具の寿命を延長します。LED光源の電圧を安定化することで、照明器具の寿命を延長します。

「NEW」な得バリュー宣言。
LED照明の普及を促進し環境に配慮。三菱のLED照明は進化します。

LED照明器具開発の3つの設計技術

照明空間に合わせた、光の配光を設計。光の配光を設計することで、照明空間の照明環境を最適化します。

LED光源の発熱を抑えることで、照明器具の寿命を延長します。LED光源の発熱を抑えることで、照明器具の寿命を延長します。

LED光源の電圧を安定化することで、照明器具の寿命を延長します。LED光源の電圧を安定化することで、照明器具の寿命を延長します。

③4.1 高い品質基準と安定した商品供給

照明空間に合わせた、光の配光を設計。光の配光を設計することで、照明空間の照明環境を最適化します。

③4.2 5年間の長期保証

照明空間に合わせた、光の配光を設計。光の配光を設計することで、照明空間の照明環境を最適化します。

③4.3 高性能でお求めやすいプライスを提供

照明空間に合わせた、光の配光を設計。光の配光を設計することで、照明空間の照明環境を最適化します。

LED 照明「LED 照明の取り組み」
についての資料です。

③5照明商品提案 P 2

三菱LED照明 **milie** 三菱の品質基準

三菱電機照明は、照明器具の品質基準を厳格に設定し、照明器具の品質を向上させています。

選法・規格適合

照明器具の品質基準を厳格に設定し、照明器具の品質を向上させています。

当社独自の品質技術

照明器具の品質基準を厳格に設定し、照明器具の品質を向上させています。

③5.1 高い品質基準と安定した商品供給

照明器具の品質基準を厳格に設定し、照明器具の品質を向上させています。

③5.2 5年間の長期保証

照明器具の品質基準を厳格に設定し、照明器具の品質を向上させています。

③5.3 高性能でお求めやすいプライスを提供

照明器具の品質基準を厳格に設定し、照明器具の品質を向上させています。

LED 照明「三菱の品質基準」
についての資料です。

③6照明商品提案 P 3

三菱LED照明器具 **milie** **LINE LIGHT** 直管形LEDランプ搭載ベースライト **ラインeco** シリーズ

「NEW」な得バリュー宣言。 LED照明の普及を促進し環境に配慮。三菱のLED照明は進化します。

「高い品質基準と安定した商品供給」、「5年保証期間の長期保証」、「高性能でお求めやすいプライスを提供」

安全に配慮した口金GX16t-5を採用。
用途に合わせて選べる5出力のランプバリエーション。器具設置後でも必要な明るさのランプが選べます。

●屋内から屋外、特殊用途の空間まで豊富な器具バリエーション

電気用品安全法に適合。安全性に配慮したL形口金システム

用途に合わせてランプを選べばさらに省エネ。明るさを抑えた2000lm、1500lmランプを使えば最大67%の省エネが実現します。

消費電力比較

消費電力比較	省エネ率
2000lm	67%
1500lm	67%
1000lm	67%
500lm	67%

消費電力比較

消費電力比較	省エネ率
2000lm	67%
1500lm	67%
1000lm	67%
500lm	67%

LED 照明「LINE LIGHT」のご紹介資料です。

③⑦照明商品提案 P 4

CEILING
高天井用シーリング

＜クラス3000：水銀ランプ700W・クラス2000：メタハラ400W
クラス1500：水銀ランプ400W・クラス1000：水銀ランプ250W相当＞

「NEC」なっ得バリューシリーズ LED照明の普及を促進し環境に配慮。三菱のLED照明は進化します。
「高い品質基準と安定した商品供給」、「5年保証期間の長期保証」、「高機能でお求めやすいプライスを提供」

水銀ランプ器具からの交換で大幅なコストダウンを実現。

■ 水銀灯700W・メタハラ灯400W相当の高出力を発売

クラス3000（水銀灯700W相当）、クラス2000（メタハラ灯400W相当）、クラス1500（水銀灯400W相当）の豊富な出力バリエーションをラインアップ。新装リニューアルを問わず、さまざまな高天井用途に対応可能。電源別タイプに加えて、拡散カバーや全体ガード、コントローラ取付ボックスも豊富。

■ こまめな消灯と連続調光で、さらなる省エネを実現

従来の水銀ランプはランプ特性により即時消灯ができず、即時点灯が必要でした。LEDは即時点灯・消灯が可能です。必要な時に点灯することによって消費電力の低減にプラスして大幅な省エネを実現します。
また、連続調光できる器具もラインアップ。従来の水銀ランプでは、出来なかった調光制御で、さらなる省エネを実現します。

■ 軒下・低温度・耐塩仕様もラインアップ

軒下、低温度でも使用可能な防雨型タイプもラインアップ。-25℃から使用可能で、天井の高い低温度庫でも大幅な省エネを実現。
耐塩仕様にも対応

■ 夏期の一時的な高温環境に対応

本商品の使用可能温度範囲は5～30℃となっておりますが、夏季など一時的な高温環境であれば、下記の温度範囲で使用が可能です。

	2000～2420mm	1600mm
クラス3000	45℃以下	—
クラス2000	50℃以下	45℃以下
クラス1500	55℃以下	45℃以下
クラス1000	45℃以下	—

（注）連続使用時は50℃以下を推奨

壁面取付金具
コントローラ
取付ボックス
全体ガード
30°までの傾斜天井に
取付可能です。

LED 照明「CEILING」のご紹介資料です。

③⑧中長期計画書

Ⅰ 計画期間

平成28年度 ～ 平成29年度

作成日: 2011年9月28日

Ⅱ 計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果

工程	計画内容	エネルギー使用 合理化期待効果
空調設備	省エネ型空調機の導入 合計能力50kW 平成28年度実施予定	2.71kL
照明設備	省エネ型照明器具、LED照明器具の導入 合計入力24kW 平成28年度実施予定	0.25kL

Ⅲ 前年度計画書との比較

工程	削減された計画	理由
工程	削減された計画	理由

空調、照明の中長期計画書です。

「エネルギー使用 合理化期待効果」の値は、原油換算値です。
空調は、SLIM、ビルマル、設備 PAC で合算した値となります。

(3) データ登録の流れは下記の通りになります。

①データシートを選択：機種の種類によって登録するシートが違います。



②必要項目の入力：形名や能力など、必要な項目を入力します。



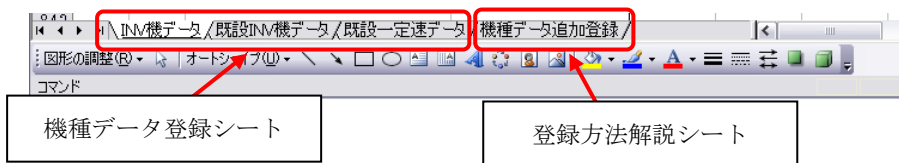
③「データ登録ボタン」をクリックし、データを登録します。



④データ登録を終了し、計算を開始します。

①データシート選択

データシートは、登録解説シートの他に3つのシートに分かれています。



それぞれの用途は以下の通りです。

○I N V機データ

「推奨機」(お奨めしたい空調機) データの登録シートです。

○既設I N V機データ

「比較機」(比較対象となる空調機) データの登録シートです。

比較機のデータとなりますがインバーター機のデータのみ登録願います。

一定速機のデータは次に説明します「既設一定速データ」シートに登録願います。

○既設一定速データ

「比較機」(比較対象となる空調機) データの登録シートです。

一定速機のデータのみ登録願います。

※ 追加登録する機種のデータシートに機種の数値を入力後、左上の「データ登録ボタン」をクリックしてデータを登録してください。

以下、I N V機データのシートを使ってご説明します。

②必要項目の入力

入力項目は以下の通りです。

○ランニングN o.

一番左列(A列)に番号を振ってください。既にある場合は不要です。

○電源

単相機種または三相機種を確定するために入力します。

単相 または 三相 と入力してください。

※それ以外の文字を入力した場合は機種リストに表示されませんのでご注意ください。

○室内機タイプ

室内機の機種を確定するために入力します。

入力できる機種タイプは下記の通りです。

I N V機データ

4 方向セツト(人感ムフアイ)	4 方向セツト(エリアムフアイ)	4 方向セツト
2 方向セツト(ムフアイ)	2 方向セツト	1 方向セツト(人感ムフアイ)
1 方向セツト(ムフアイ)	1 方向セツト	ビルトイン
天埋	天吊(ムフアイ)	天吊
壁掛	床置	厨房

既設 I N V機データ

4 方向セツト(人感ムフアイ)	4 方向セツト(エリアムフアイ)	4 方向セツト(ムフアイ 360)
4 方向セツト	2 方向セツト(ムフアイ)	2 方向セツト
1 方向セツト(ムフアイ)	1 方向セツト	ビルトイン
天埋	天吊(ムフアイ)	天吊
壁掛	床置	厨房
代表機種		

既設一定速データ

4 方向セツト	2 方向セツト	1 方向セツト
ビルトイン	天埋	天吊
壁掛	床置	厨房
代表機種		

※入力できる機種タイプ以外の文字を入力した場合は、機種リストに表示されませんのでご注意ください。

※該当する機種が無い場合は機種名に「該当機種なし」の表示がでます。

例) 既設一定速機で室内機タイプを「4 方向セツト(エリアムフアイ)」にした場合などです。

○形名

比較する追加機種の形名を入力してください。入力は半角文字でお願い致します。

○定格冷房標準能力

カタログ記載の定格冷房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○定格暖房標準能力

カタログ記載の定格暖房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房低温能力

カタログ記載の最大暖房低温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○定格冷房標準消費電力

カタログ記載の定格冷房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○定格暖房標準消費電力

カタログ記載の定格暖房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房低温消費電力

カタログ記載の最大暖房低温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○ヒーター容量

ヒーター付機種を登録する場合は、ヒーター容量分を含まない仕様データ（定格暖房標準能力、定格暖房標準消費電力）を入力してください。ヒーター容量は必ずシートの「ヒーター容量(kW)」欄に、値を入力するようにしてください。

○中間冷房標準能力

カタログ記載の中間冷房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間暖房標準能力

カタログ記載の中間暖房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房標準消費電力

カタログ記載の中間冷房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間暖房標準消費電力

カタログ記載の中間暖房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房能力

カタログ記載の定格暖房標準能力の最大値を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房中温能力

カタログ記載の中間冷房中温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小冷房中温能力

カタログ記載の最小冷房中温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小暖房標準能力

カタログ記載の最小暖房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房中温消費電力

カタログ記載の中間冷房中温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小冷房中温消費電力

カタログ記載の最小冷房中温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小暖房標準消費電力

カタログ記載の最小暖房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房極低温能力

カタログ記載の最大暖房極低温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房極低温消費電力

カタログ記載の最大暖房極低温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

③データ登録ボタン

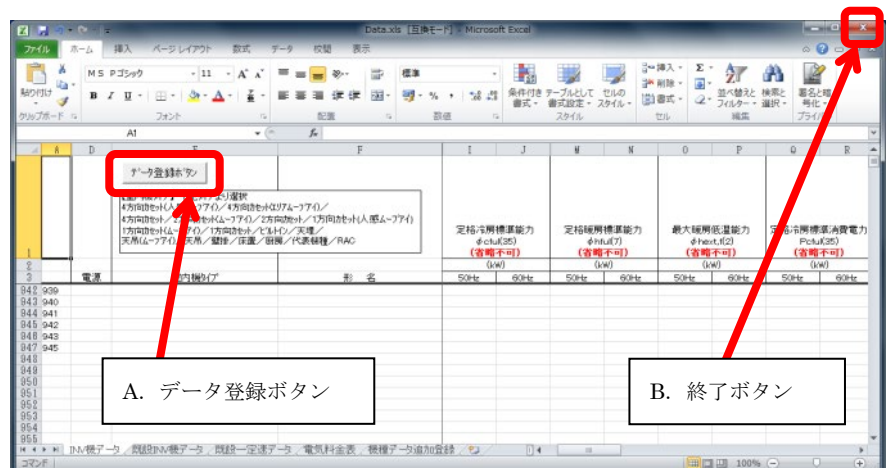
A. 機種データ入力の後、データ登録ボタンをクリックしてデータを登録してください。

B. データ登録後、右上の終了ボタン「×」をクリックしてください。

C. データ追加の変更を保存するかどうかの画面がでますので「はい（Y）」をクリックしてください。

最初の計算画面に戻ります。

追加したデータをその後も継続して使用する場合は、ソフトに追加データを保存する必要がありますので、必ず「はい（Y）」をクリックして終了させてください。



7.1.2 ロスナイのマスタメンテナンス

(1) 初期画面の一番下“⑥マスタメンテナンス”の中の[ロスナイ] ボタンをクリックしてください。

業務用省エネ計算統合ソフト 2015年1月リリース版 (Ver2.00.00)

【操作手順】

- ①共通情報を入力
お客名、物件名、提案社名、JRA規格、用途、都市名、契約電力、CO2排出係数、空調条件
- ②省エネ計算を行う
業務用PAC(M/S/L/M)の計算
ボタンをクリックする
ビル用マルチエアコンの計算
ボタンをクリックする
設備用PACの計算
ボタンをクリックする
照明の計算
ボタンをクリックする
- ③提案書に出力する機種
出力する機種にチェックをつける
- ④提案書も出力する
提案書出力ボタンをクリックする
出力された提案書を印刷、
ファイル保存する
- ⑤終了する
終了ボタンをクリックする

※機種データを追加したい場合、
⑥マスタメンテナンスの各機種
ボタンをクリックする

※空調電気料金を変更したい場合、
⑥マスタメンテナンスの
空調電気料金ボタンをクリックする

⑥マスタメンテナンス
登録されていない機種と電気料金の変更はこれから登録してください

業務用PAC(M/S/L/M) 計算未 ビル用マルチエアコン 計算未 設備用PAC 計算未 照明 計算未

⑥提案書出力
出力しない機種にチェックを入れると提案書に出力されます
☐ 業務用PAC(M/S/L/M) ☐ ビル用マルチエアコン ☐ 設備用PAC ☐ 照明

⑥終了

⑥マスタメンテナンス
業務用PAC(M/S/L/M) ビル用マルチエアコン 設備用PAC **ロスナイ** 空調電気料金

(2) データ登録シートが開きます

②「データ登録ボタン」をクリックして
追加データを登録してください。

①追加する機種の必要項目データを入力してください。

(3) データ登録の流れは下記の通りになります。ロスナイデータのシートを選択後、下記の要領で入力してください。

①必要項目の入力

形名や能力など、必要な項目を入力します。



②「データ登録ボタン」をクリックし、データを登録します。



③データ登録を終了し、計算を開始します。

入力項目は以下の通りです。

○ランニングNo.

一番左隅（A列）に番号を振ってください。既にある場合は不要です。

○メーカー

メーカー名を記入してください。

○電源

単相機種または三相機種を確定するために入力します。

単相 または 三相 と入力してください。

それ以外の文字を入力した場合はリストに表示されませんのでご注意ください。

○用途

ロスナイの用途を確定するために入力します。

入力できる用途は下記の通りです。

それ以外の文字を入力した場合はリストに表示されませんのでご注意ください。

業務用ロスナイ	設備用ロスナイ
店舗用ロスナイ	学校用ロスナイ

○タイプ

ロスナイのタイプを確定するために入力します。

入力できる機種タイプは下記の通りです。

それ以外の文字を入力した場合はリストに表示されませんのでご注意ください。

パワ脱臭カセット形	外気処理ユニット(床置ビルトイン形加熱加湿付直膨タイプ)	ビル用ロスナイパック形
天吊カセット形	外気処理ユニット(天井埋込形加熱加湿付直膨タイプ)	ビル用ロスナイユニット横形
天吊カセット形加湿付	床置形	耐湿形
天吊埋込形	床置ビルトイン形加湿付	全カセット形
天吊埋込形加湿付	床置ビルトイン形機械室設置タイプ 加湿付	真下ダクト形
天吊露出形		

○機能

ロスナイの機能を確定するために入力します。

入力できる機能は下記の通りです。

それ以外の文字を入力した場合はリストに表示されませんのでご注意ください。

スタンダードタイプ	耐湿形全熱交換タイプ
マイコンタイプ<フリーラン対応形>	指定がない場合は” — ”にして
耐湿形顕熱交換タイプ	ください。

○形名

比較する追加機種の形名を入力してください。入力は半角文字でお願い致します。

○換気風量

カタログ記載の換気風量を半角英数で数字のみ入力してください。

給気と排気の2つの表記がある機種は2つとも登録願います。

○温度交換効率

カタログ記載の温度交換効率を半角英数で数字のみ入力してください。

○エンタルピ交換効率

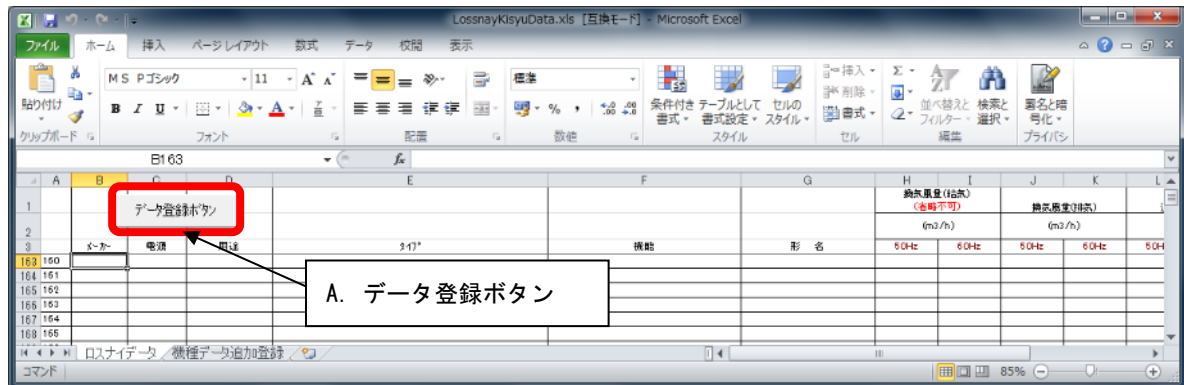
カタログ記載のエンタルピ交換効率を半角英数で数字のみ入力してください。

○希望小売価格

カタログ記載の希望小売価格を入力してください。

(4) データ登録ボタン

データ登録ボタンをクリックしてデータを登録してください。最初の画面に戻ります。



7.2 ビル用マルチエアコンのマスタメンテナンス

(1) 初期画面の一番下“⑥マスタメンテナンス”の中の[ビル用マルチエアコン] ボタンをクリックしてください。

(2) データ登録のシートが開きます。

③「データ登録ボタン」をクリックして追加データを登録してください。

④保存して終了してください。

②追加する機種の必要項目データを入力してください。

①該当する機種のデータシートを選択してください。

(3) データ登録の流れは下記の通りになります。

①データシートの選択：機種の種類によって登録するシートが違います。

↓

②必要項目の入力：形名や能力など、必要な項目を入力します。

↓

③「データ登録ボタン」をクリックし、データを登録します。

↓

④データ登録を終了します。

①データシート選択

データシートは、登録解説シートの他に3つのシートに分かれています。



それぞれの用途は以下の通りです。

○ I N V機データ

「推奨機」（お奨めしたい空調機）データの登録シートです。

○ 既設 I N V機データ

「比較機」（比較対象となる空調機）データの登録シートです。

比較機のデータとなりますがインバーター機のみ登録願います。

一定速機のデータは次に説明します「既設一定速データ」シートに登録願います。

○ 既設一定速データ

「比較機」（比較対象となる空調機）データの登録シートです。

一定速機のデータのみ登録願います。

※追加登録する機種のデータシートに機種の数値を入力後、左上の「データ登録ボタン」をクリックしてデータを登録してください。

以下、I N V機データのシートを使ってご説明します。

②必要項目の入力

入力項目は以下の通りです。

○ ランニング N o .

一番左列（A 列）に番号を振ってください。既にある場合は不要です。

○ 電源

単相機種または三相機種を確定するために入力します。

単相 または 三相 と入力してください。

※それ以外の文字を入力した場合は機種リストに表示されませんのでご注意ください。

○ タイプ

機種を確定するために入力します。

入力できる機種タイプは下記の通りです。

※それ以外の文字を入力した場合は機種リストに表示されませんのでご注意ください。

※該当する機種が無い場合は機種名に「該当機種なし」の表示がでます。

I N V機データ : グランマルチ、リフ レース グランマルチ、マルチ S、ｽﾊﾞ 暖マルチ S、Y GR、Y GR(高効率)、リフ レース Y GR、ｽﾊﾞ 暖マルチ Y、ｽﾊﾞ 暖マルチ 7、リフ レース ｽﾊﾞ 暖マルチ Y、リフ レース ｽﾊﾞ 暖マルチ 7、R2 GR、R2 GR 高効率、他社品

既設 I N V機データ : グランマルチ、リフ レース グランマルチ、マルチ S、マルチ Y、リフ レース EG、Y Eeco、リフ レース Eeco、Y GR、Y GR(高効率)、リフ レース Y GR、リフ レース Y GR(高効率)、R2 GR、R2 GR 高効率、マルチ R2、他社品

既設一定速データ : -

○形名

比較する追加機種の形名を入力してください。入力のは半角文字でお願い致します。

○定格冷房標準能力

カタログ記載の冷房能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○定格暖房標準能力

カタログ記載の暖房能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○定格冷房標準消費電力(室内機込み)

室内機込みの冷房定格消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○定格暖房標準消費電力(室内機込み)

室内機込みの暖房定格消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○ヒーター容量

ヒーター付機種を登録する場合は、ヒーター容量分を含まない仕様データ（定格暖房標準能力、定格暖房標準消費電力）を入力してください。ヒーター容量は必ずシートの「ヒーター容量(kW)」欄に値を入力するようにしてください。

○中間冷房標準能力

カタログ記載の中間冷房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間暖房標準能力

カタログ記載の中間暖房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房標準消費電力(室内機込み)

室内機込みの中間冷房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間暖房標準消費電力(室内機込み)

室内機込みの中間暖房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房能力

カタログ記載の暖房能力の最大値を半角英数で数字のみ入力してください。

○室内機

室内機の形名、台数を入力してください。入力できるのは3種類までです。

入力のは半角文字でお願い致します。

4種類以上の場合は、お手数ですが提案書(Excel)を手修正願います。

消費電力は台数分全てを込みで入力願います。

○中間冷房中温能力

カタログ記載の中間冷房中温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小冷房中温能力

カタログ記載の最小冷房中温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小暖房標準能力

カタログ記載の最小暖房標準能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房中温消費電力(室内機込み)

室内機込みの中間冷房中温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小冷房中温消費電力(室内機込み)

室内機込みの最小冷房中温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最小暖房標準消費電力(室内機込み)

室内機込みの最小暖房標準消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房極低温能力

カタログ記載の最大暖房極低温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房極低温消費電力(室内機込み)

室内機込みの最大暖房極低温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房低温能力

カタログ記載の最大暖房低温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

(2014年度品以前の場合、カタログ記載の暖房低温能力が相当します。)

○最大暖房低温消費電力

室内機込みの最大暖房低温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

(2014年度品以前の場合、カタログ記載の暖房低温消費電力が相当します。)

③ データ登録ボタン

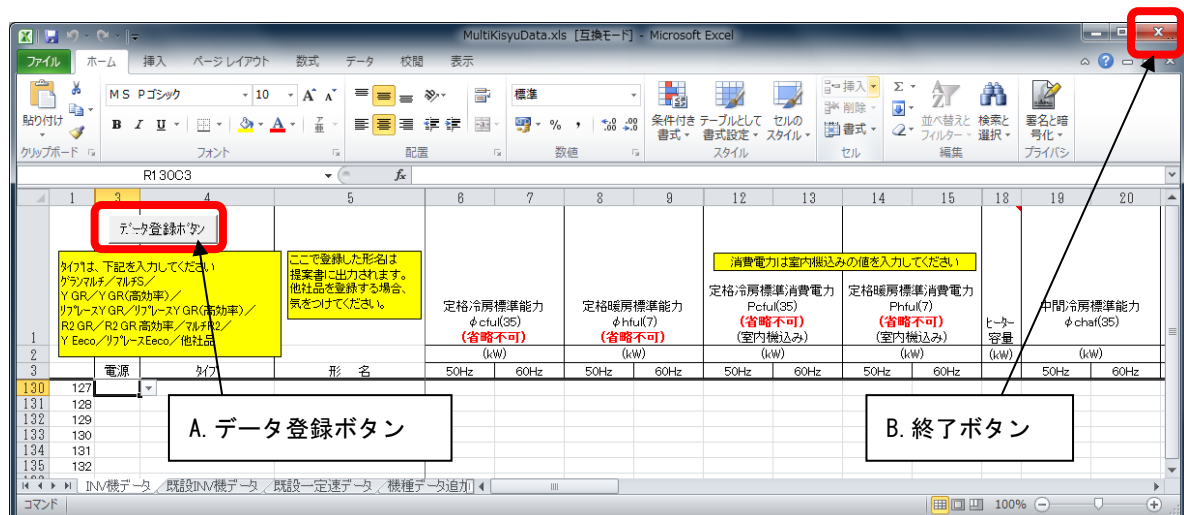
A. 機種データ入力の後、データ登録ボタンをクリックしてデータを登録してください。

B. データ登録後、右上の終了ボタン「×」をクリックしてください。

C. データ追加の変更を保存するかどうかの画面がでますので「はい (Y)」をクリックしてください。

最初の計算画面に戻ります。

追加したデータをその後も継続して使用する場合は、ソフトに追加データを保存する必要がありますので、必ず「はい (Y)」をクリックして終了させてください。



7.3 設備用PACのマスタメンテナンス

(1) 初期画面の一番下“⑥マスタメンテナンス”の中の「設備用PACボタンをクリックしてください。

(2) マスタメンテナンスの「設備用PAC」のボタンをクリックするとデータ登録のシートが開きます。

(3) データ登録の流れは下記の通りになります。

①データシートを選択：機種の種類によって登録するシートが違います。



②必要項目の入力：形名や能力など、必要な項目を入力します。



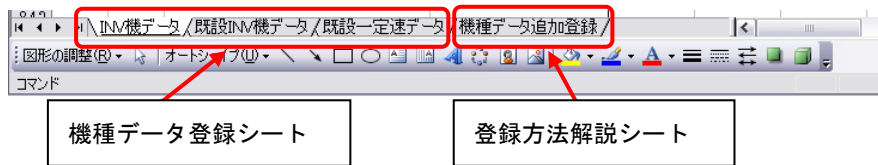
③「データ登録ボタン」をクリックし、データを登録します。



④データ登録を終了し、計算を開始します。

①データシート選択

データシートは、登録解説シートの他に3つのシートに分かれています。



それぞれの用途は以下の通りです。

○I N V機データ

「推奨機」（お奨めしたい空調機）データの登録シートです。

○既設I N V機データ

「比較機」（比較対象となる空調機）データの登録シートです。

比較機のデータとなりますがインバーター機のみ登録願います。

一定速機のデータは次に説明します「既設一定速データ」シートに登録願います。

○既設一定速データ

「比較機」（比較対象となる空調機）データの登録シートです。

一定速機のデータのみ登録願います。

※ 追加登録する機種のデータシートに機種の数値を入力後、左上の「データ登録ボタン」をクリックしてデータを登録してください。

以下、I N V機データのシートを使ってご説明します。

②必要項目の入力

入力項目は以下の通りです。

○ランニングNo.

一番左列（A列）に番号を振ってください。既にある場合は不要です。

○電源

単相機種または三相機種を確定するために入力します。

単相 または 三相 と入力してください。

※それ以外の文字を入力した場合は機種リストに表示されませんのでご注意ください。

○室内機タイプ

室内機の機種を確定するために入力します。

入力できる機種タイプは下記の通りです。

I N V機データ

一般空調用床置	一般空調用床置高効率	一般空調用天吊
---------	------------	---------

既設I N V機データ

一般空調用床置	一般空調用床置高効率	一般空調用天吊
---------	------------	---------

既設一定速データ

一般空調用床置

※それ以外の文字を入力した場合は機種リストに表示されませんのでご注意ください。

※該当する機種が無い場合は機種名に「該当機種なし」の表示がでます。

○形名

比較する追加機種の形名を入力してください。入力は一文字半角文字でお願い致します。

○定格冷房標準能力

カタログ記載の冷房能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○定格暖房標準能力

カタログ記載の暖房能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○定格冷房標準消費電力

カタログ記載の冷房消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○定格暖房標準消費電力

カタログ記載の暖房消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○ヒーター容量

ヒーター付機種を登録する場合は、ヒーター容量分を含まない仕様データ（暖房能力、暖房消費電力）を入力してください。ヒーター容量は必ずシートの「ヒーター容量(kW)」欄に、値を入力するようにしてください。

○中間冷房標準能力

カタログ記載の中間冷房標準能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○中間暖房標準能力

カタログ記載の中間暖房標準能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房標準消費電力

カタログ記載の中間冷房標準消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○中間暖房標準消費電力

カタログ記載の中間暖房標準消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最大冷房能力

カタログ記載の冷房能力の最大値を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房能力

カタログ記載の暖房能力の最大値を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房中温能力

カタログ記載の中間冷房中温能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最小冷房中温能力

カタログ記載の最小冷房中温能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最小暖房標準能力

カタログ記載の最小暖房標準能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○中間冷房中温消費電力

カタログ記載の中間冷房中温消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最小冷房中温消費電力

カタログ記載の最小冷房中温消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最小暖房標準消費電力

カタログ記載の最小暖房標準消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房極低温能力

カタログ記載の最大暖房極低温能力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房極低温消費電力

カタログ記載の最大暖房極低温消費電力を一文字半角英数で数字のみ入力してください。

○最大暖房低温能力

カタログ記載の暖房低温能力を半角英数で数字のみ入力してください。

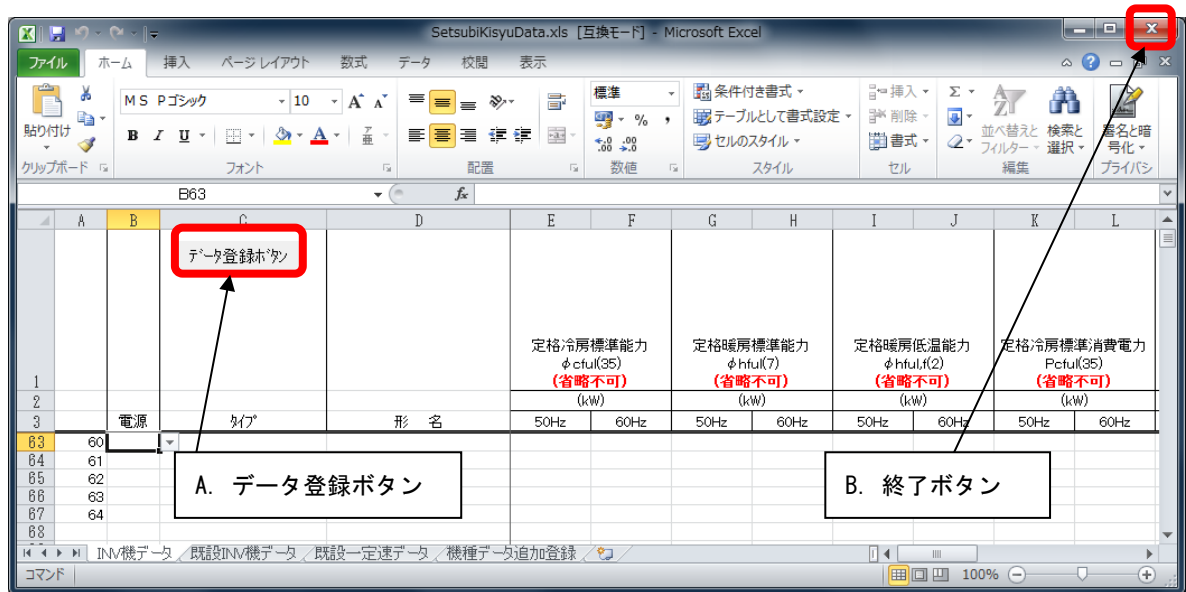
○最大暖房低温消費電力

カタログ記載の暖房低温消費電力を半角英数で数字のみ入力してください。

③データ登録ボタン

- A. 機種データ入力の後、データ登録ボタンをクリックしてデータを登録してください。
- B. データ登録後、右上の終了ボタン「×」をクリックしてください。
- C. データ追加の変更を保存するかどうかの画面がでますので「はい（Y）」をクリックしてください。
最初の計算画面に戻ります。

追加したデータをその後も継続して使用する場合は、ソフトに追加データを保存する必要がありますので、必ず「はい（Y）」をクリックして終了させてください。



7.4 空調電気料金のマスタメンテナンス

電気料金単価の修正方法は下記の通りです

- (1) マスタメンテナンスの「空調電気料金」のボタンをクリックします。

「電気料金を更新した場合、必ず業務用 PAC (Mr. Slim)、ビル用マルチエアコン、設備用 PAC 省エネ計算を再計算してください」というメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

The screenshot shows the 'Master Maintenance' window with various tabs. The 'Air Conditioning Electricity Fee' tab is selected and highlighted with a red box. The window contains fields for customer information, usage, and calculation options. The 'Air Conditioning Electricity Fee' button is located at the bottom right of the window.

- (2) データ登録のシートが開きます。シートは2つありますが、一番最初の「電気料金表」を選択してください。

The screenshot shows the 'Electricity Rate Table' (電気料金表) in Microsoft Excel. The table lists electricity rates for various power companies and usage categories. A red box highlights the 'Electricity Rate Table' (電気料金表) tab.

電力会社	北海道電力	東北電力	東京電力	中部電力	北陸電力	関西電力	中国電力	四国電力	九州電力	沖縄電力
基本料金	1228.50	1297.50	1071.00	1092.00	1113.00	1029.00	1060.50	1065.75	966.00	1270.50
電力料金	11.61	12.79	13.20	12.27	11.48	12.41	14.16	13.46	13.65	15.24
業務用電力6kV	1785.00	1585.50	1638.00	1706.25	1512.00	1743.00	1653.75	1476.00	1953.00	1684.25
電力料金	12.29	13.63	13.75	12.63	11.11	12.00	13.50	12.61	10.59	16.33
業務用電力10・30kV	1837.50	1584.50	1585.50	1643.25	0.00	1643.25	1632.75	1639.00	1648.00	1653.75
電力料金	10.67	11.86	12.24	13.21	0.00	10.84	10.99	10.56	9.58	14.36
業務用電力60・70kV	1827.00	1543.50	1533.00	1590.75	0.00	1601.25	1617.00	1608.00	1785.00	1643.25
電力料金	10.62	11.51	12.00	12.89	0.00	10.70	10.89	10.36	9.48	14.13
高圧電力A	1375.50	1260.00	1233.75	1228.50	1245.50	1323.00	1186.50	1235.00	1312.50	1543.50
電力料金	10.07	12.21	13.59	11.84	11.41	11.31	14.04	13.66	12.55	14.49
高圧電力B	1963.50	1690.00	1732.50	0.00	1512.00	1665.00	1653.75	1734.00	2341.50	1926.75
電力料金	10.59	11.85	10.11	0.00	10.18	9.82	11.99	10.84	9.08	13.55
特別高圧電力10・30kV	1900.50	1732.50	1585.50	1561.00	1486.25	1769.25	1632.75	1681.00	1848.00	1816.50
電力料金	9.77	10.98	11.70	11.20	10.33	10.09	10.31	9.82	8.21	9.71
特別高圧電力60・70kV	1880.00	1669.50	1533.00	1521.00	1470.00	1727.25	1617.00	1650.00	1785.00	1753.50
電力料金	9.73	10.64	11.47	11.00	9.43	9.78	10.20	9.73	9.10	9.48
特別高圧電力100・140kV	0.00	1606.50	1480.50	1481.00	0.00	0.00	1585.50	0.00	1722.00	0.00
電力料金	0.00	10.29	11.24	10.79	0.00	0.00	10.03	0.00	9.00	0.00
送電電灯	332.50	315.00	273.00	273.00	231.00	378.00	389.50	357.00	283.50	393.69
電力料金	18.27	16.81	17.87	17.05	16.92	16.76	17.08	15.76	16.10	21.86
121～300kWh	23.68	22.56	22.86	21.09	20.62	19.83	22.90	20.74	20.34	27.15
301kWh～	25.37	24.17	24.13	22.52	22.26	20.70	24.69	22.51	21.72	28.04

※1. 現在は、お客様と電力会社との協議により電気料金単価が決められていますので、お客様に電気料金単価を確認して入力するの、参考値にて計算してください。
参考値で計算した計算書を提出する際には、その旨を伝えましょう。

※2. 北海道電力「～120kWh」、121～280kWh、「281kWh～」でありますが、121～300kWh、「301kWh～」の範囲となっております。

①電気料金表

電気料金表 / 電気料金単価登録 /

データ登録の流れは下記の通りになります。

- ①データシートの選択：一番最初の「電気料金表」を選択してください。



- ②単価の入力：該当する単価を変更します。

※契約名はソフトウェアの都合上、全国で統一した名称としています。

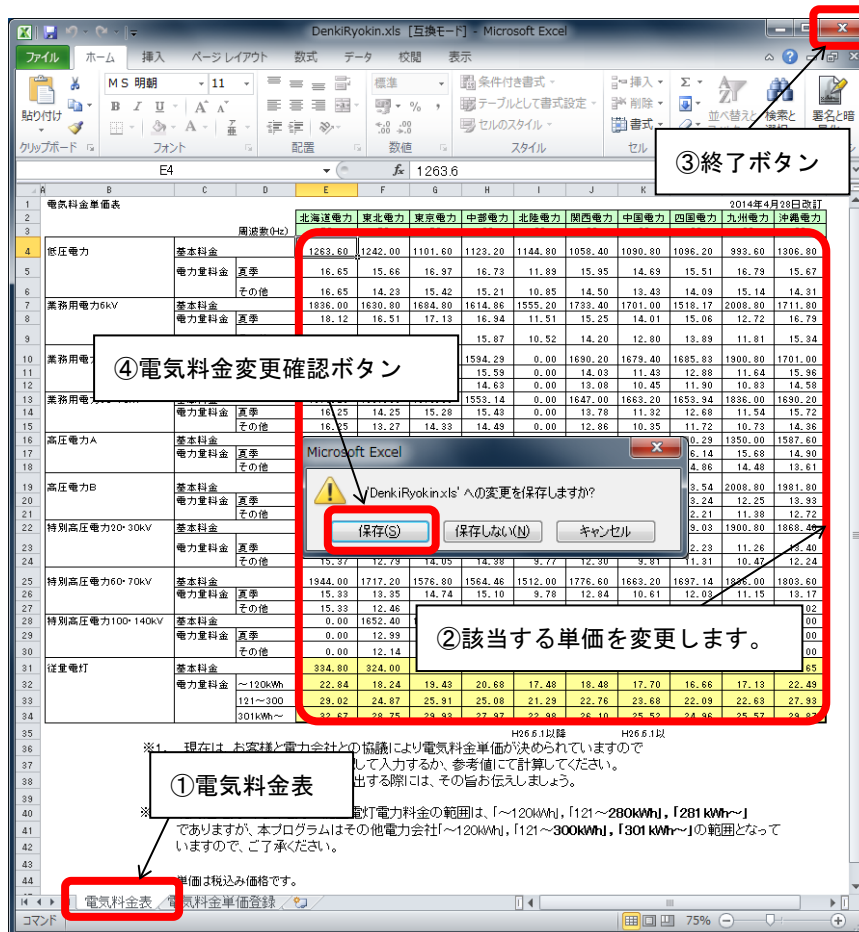
※該当する契約名が無い場合でも一番近い契約体系で単価を変更願います。



- ③データ登録します。

データの入力が終了しましたら右上の終了ボタン「×」をクリックして終了してください。

※その際、変更を保存するかどうかの画面が出ますので、必ず「はい（Y）」をクリックして終了してください



修正したデータをその後も継続して使用する場合は、ソフトに修正データを保存する必要がありますので、必ず「はい（Y）」をクリックして終了させてください。

終了後、計算画面に戻ります。

※終了後は、再度省エネ計算をやり直してください。